

Webホスティング（レンタルサーバ）サービス

# Applitus Server VALUE

ご利用マニュアル

管理者向け

Ver 7.0

# NEOJAPAN

株式会社ネオジャパン

## はじめに

この度は「Applitus Server VALUE」サービスをご利用頂き、誠に有り難うございます。

本マニュアルには「Applitus Server VALUE」サービスのご利用にあたり、必要な情報が記載されております。さらに詳細な情報、最新情報につきましては、弊社ホームページでご確認、もしくは弊社コミュニケーションセンターまでお問い合わせ頂きますようお願い致します。

株式会社ネオジャパンホームページ URL http://www.neo.co.jp/ Applitus Server VALUE ホームページ URL http://www.desknets.com/applitus/service/applications/value.html
---

### 【お客様へのお願い】

1. ご利用のサービスを使用して、不特定多数の携帯電話メールアドレス、インターネットメールアドレス等へ大量メールの一斉送信行為は行わないようお願い申し上げます。サービス提供を行っている通信設備、あるいはサービスそのものに悪影響を与えるご利用については、直ちに停止させて頂くこととなります。
2. お取引関係の無い、不明なメールアドレスから短時間に多くのメールが届いた場合、スパムメール(迷惑行為)と考えられる場合があります。多くの場合こういったメールは、そのままにしておくことと継続的になり、時として、特定のメールアドレスをめぐって集中的に送りつけられるといった悪質な行為を引き起こすこととなります。万が一、知らない人から短時間に多くのメールが届いた場合には、お手数でもご連絡をいただき、ご相談くださいますようお願い申し上げます。

### 【緊急時の連絡体制について】

メールの送受信に重大な障害が発生した場合のお客様に対する緊急連絡体制を下記のとおりいたします。

#### ① 重大障害発生時の緊急連絡方法

- FAX によりご連絡いたします。
- FAX 番号のご登録が無い場合には、弊社営業時間内に限り電話にてご連絡いたします。
- FAX への送信をご希望されない場合には、弊社「Applitus メンテナンス・障害情報」のブログページに情経を掲載しておりますので、ご確認ください。

<http://info.applitus.com/php/dnblog/index.php?module=Blog&blog=m-info&rand=a4636>

#### ② 障害発生時から解消までの経過連絡

- 弊社「Applitus メンテナンス・障害情報」のブログページに経過報告を掲載しておりますので、ご確認ください。

<http://info.applitus.com/php/dnblog/index.php?module=Blog&blog=m-info&rand=a4636>

#### ③ 対応最終報告

- お客様アカウント「管理者メールアドレス」宛にご報告をメールにて配信いたします。お客様にご送付いたしました「登録完了通知書」の内容につきましては、「紛失」「第三者に漏洩」することが無いよう、厳重に管理保管して頂くようお願いいたします。

目次

第1章 ご利用に際してのご確認事項.....	4
第2章 基本サービス仕様.....	5
第3章 設定内容に関するご説明.....	6
第4章 「登録完了通知書」をまず確認して下さい.....	7
第5章 管理者ログイン画面.....	10
第6章 管理者パスワードの変更.....	13
第1節 ログインをすると下記メニュー画面となります.....	13
第2節 管理者パスワードの変更の方法.....	15
第7章 Applitus Server VALUE 管理メニューの機能.....	17
第1節 ドメイン管理機能（お客様情報管理、レポート機能）.....	17
第1項 リポート.....	17
第2項 制限.....	19
第3項 ドメイン管理者.....	20
第3項 ドメイン管理者.....	20
第4項 バックアップ.....	21
第2節 サービス管理機能(メールサービスの設定).....	24
第1項 メールメニュー.....	24
1-1 メールアドレスの管理・メーリングリストの管理.....	24
1-2 メールアカウントの作成.....	25
1-3 メールアカウントの設定状況を確認する.....	27
1-4 メールアカウントの個別設定を行う.....	28
1-5 機能詳細.....	29
■ メールボックスの管理.....	29
■ 転送の管理.....	30
■ メールグループ(同報配信先グループ)の管理.....	30
■ グループ管理.....	31
■ 自動応答の管理.....	31
■ スпамフィルタ管理.....	32
■ アンチウイルス機能管理.....	34
■ メールユーザーログイン.....	35
第2項 データベース.....	37
第3節 ホスティング機能.....	39
第1項 設定.....	39
第2項 Web ユーザー.....	40
第3項 サブドメイン.....	41

第4項	ディレクトリ .....	46
第5項	ログマネージャ.....	48
第6項	ファイルマネージャ .....	49
第7項	クローンタブマネージャ .....	55
第8項	Web アプリケーション.....	56
第9項	サイトプレビュー .....	56
<b>第8章</b>	<b>各種ソフトウェアの設定例.....</b>	<b>57</b>
第1節	FTP ソフトの設定例 (Windows 編) .....	57
第2節	メールソフトの設定例 (Windows Live メール,Mac Mail) .....	60
<b>第9章</b>	<b>各種ソフトウェアの設定例に関する追加項目 .....</b>	<b>67</b>
<b>第10章</b>	<b>SPAM (スパム) 対策に関する注意事項.....</b>	<b>69</b>
第1節	SPAM (スパム) フィルターとは? .....	69
第2節	ブラックリストとは? .....	70
第3節	ブラックリストに載ってしまったら? .....	70
<b>第11章</b>	<b>標準提供のスクリプト (CGI、PHP) ご利用について .....</b>	<b>71</b>
第1節	フォームメールスクリプト「Form to Mail」 <PHP> .....	71
第2節	アクセスカウンタースクリプト<CGI> .....	74
<b>第12章</b>	<b>お客様独自 CGI 及び PHP スクリプトの設置について .....</b>	<b>76</b>
第1節	サーバ環境.....	76
第2節	CGI スクリプトのご利用について .....	78
第3節	PHP スクリプトの利用について.....	80
<b>第13章</b>	<b>暗号化通信技術 SSL の利用について.....</b>	<b>81</b>
第1節	サーバ環境共用 SSL サーバ設定完了通知書について .....	81
第2節	FTP ソフトからのサーバへのアクセスの方法.....	82
第3節	SSL 領域サーバへのアクセス方法.....	86
<b>第14章</b>	<b>SSI の利用について (スクリプトを含んだ記述) .....</b>	<b>88</b>
<b>第15章</b>	<b>".htaccess"を用いた設定変更 .....</b>	<b>89</b>
<b>第16章</b>	<b>スクリプト設置に関する注意事項.....</b>	<b>90</b>
<b>第17章</b>	<b>おかしいな? と思ったら (Q&amp;A) .....</b>	<b>91</b>
第1節	管理画面について .....	91
第2節	メールについて .....	92
第3節	ウェブについて .....	94
<b>第18章</b>	<b>お問い合わせ窓口 .....</b>	<b>95</b>

## 第1章 ご利用に際してのご確認事項

通信事業者より届きます書類には、「Applitus Server VALUE」のご利用に関するサーバ情報等の各種設定に関わる情報と重複する項目等もございます。重複する情報の取り扱いにつきましては本マニュアルご参照の上、『登録完了通知書』の内容をまずはご確認ください。ご不明な点等ございましたら下記コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

### コミュニケーションセンター

**Tel: 0120 - 365 - 800** (平日 9 時 00 分～12 時、13 時～18 時)

**Fax: 045-640-5918**

**Mail: support@applitus.com**

## 第2章 基本サービス仕様

基本サービス項目	内容
独自ドメイン取得・運用	弊社で独自ドメインの運用をお任せいただく場合には、独自ドメインの取得費用・ならびに更新料金も一切無料となります。 属性型・地域型jp、汎用jplはもちろんのこと、com/net/orgのgTLDもご利用になれます。
ディスク容量	Webスペース、メールスペースを合わせ、1契約あたり約 <b>2GB</b> の大容量。 100MB単位での増設(オプション)が可能です。
メールアカウント	契約ディスク容量内で <b>無制限</b> に持つことができます。 メールアカウント毎の設定は、管理者やユーザで自在に管理できます。
メールウィルス対策	送受信メール双方のウィルスの検出・駆除・警告を標準(無料)でご提供いたします。 常に最新のウィルスに対応しています。
スパムフィルタリング	迷惑メール・攻撃メールなどのSPAM(スパム)メールからお客様を守ります。
豊富なサービスを標準装備	基本サービスに含まれています。
メール機能	メールサービス標準機能
メール送受信・転送最大容量設定	各機能最大15MBとなります。
メール転送機能	お客様のご都合にあわせ、自在にメールの転送を設定できます。複数宛先に転送することも可能です。
自動応答設定	不在時の自動応答設定機能。テキストメールだけでなく、添付ファイルもご利用になれます。 個人のコントロールパネルから設定も簡単です。
管理者メール設定	優れたGUIによるコントロールパネルで、メール機能の設定変更、管理者通知機能などを管理できます。
エンドユーザメール設定	エンドユーザ個別にコントロールパネルを設定。自動応答、転送などの機能設定をはじめ、パスワード変更もできます。
データベース	MySQLが利用可能です。
Webホスティング機能	Webホスティング標準機能
Webコントロールパネル	ファイルの作成、削除、転送、編集、アクセス権限の変更をコントロールパネルより設定。
サブドメイン対応	独自ドメイン上にサブドメインを作成・運用できます。 最大5つまで登録可能。DNS登録申請が必要です。
Web基本認証	特定のユーザのみにアクセスを許可するパスワード認証機能。
無料CGI	アクセスカウンターCGI、フォームメールCGIを無料でご利用になれます。
お客様独自のCGIスクリプト(sh、perl)、PHPスクリプトに対応	お客様独自のCGIスクリプト・PHPスクリプトも受け入れ対応いたします。
SSI対応	ホームページ作成の拡張性をさらに向上するSSIに対応いたしました。
SSL対応	ホームページデータの暗号化に対応する共有SSLサーバを無料でご利用いただけます。
アクセスログ	ホームページのアクセス状況に関するさまざまな分析が可能になります。(Webalizerを利用、access log、access ssl log、error log、error ssl logの取得が可能)
バックアップ・リストア対応	お客様ご自身で、サーバ上のデータをバックアップ・リストア(復元)できます。
コミュニケーションセンター(サポートセンター)をご用意	各種サービスのご利用方法からそれに伴うパソコンの設定・操作方法まで、豊富なノウハウと高いスキルを持った専門スタッフが丁寧にお答えします。

### 第3章 設定内容に関するご説明

弊社「Applitus Server VALUE」をご利用頂くには、必ず下記の2つの設定を行って頂く必要があります。

(1) 管理者ホーム画面より行う全ユーザーのアカウント設定

(メールアドレス、パスワード等)

(2) ユーザーが個別に行って頂く「メールソフト」「ブラウザソフト」等の端末側の設定。

「登録完了通知書」および「本ご利用サービスマニュアル」をご確認の上、設定下さい。

ご不明な点等ございましたら弊社コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

#### ご注意！！

SMTP 認証について

弊社のサービスでは、SPAM メール等による送信メールサーバの不正利用を防止するため、送信メールサーバご利用の際には必ず SMTP 認証を必要とさせていただいております。「SMTP 認証:メールソフトの設定にある送信時認証機能を利用する」、という方法です。

\* **SMTP 認証**とは、メールの送信時に都度送信者の認証を行う仕組みのことをいいます。送信時の認証により、Applitus Server VALUE サーバのネットワーク以外からのメール配信の他、発信元を偽ってのSPAM(スパム)メール(\*)の発信を防ぐことができます。

お客様の作業としては、メールソフトのサーバ認証機能を設定いただくのみとなります。

例) Outlook-Express の場合は P.58 メールソフトの設定例項番⑫の設定を実行ください。

具体的な設定方法につきましては別紙「メールソフト設定方法について」でもご案内致しております。

\* **SPAM(スパム)メール**とは

SPAM(スパム)メールとは、電子メールを利用して大量かつ無差別に送られる勧誘・広告メール、メールサーバのダウンを狙った架空の宛先への大量メールなどの迷惑メールのことをいいます。また、チェーンメールやウィルス情報メールなどの攻撃メールもSPAM(スパム)メールに含まれます。

これらSPAM(スパム)メールは一度に大量のメールを配信しますので、メールサーバに極端に負荷がかかり、インターネットに繋がりにくくなってしまふこととなります。殆どのホスティング会社では、このような悪質なSPAM(スパム)メール被害を防ぐ為、POP 認証、もしくはSMTP 認証等の事前認証方式を採用しております。また、SPAM フィルタを登載し、SPAM(スパム)メールの攻撃をできる限り防ぐシステムとなっております。





■ D FTP (file transfer protocol) ID(ユーザー名)/パスワード

ホームページ関連のデータを WWW サーバにアップロードする際、必要となる ID/パスワードが記載されます。

\* FTPID 及びパスワードにつきましてはホーム画面より変更が可能です。

■ E 管理画面 URL

弊社の各種サービス設定を行う為の管理用画面 URL が記載されます。

(管理画面 URL: <http://cp.odas.jp/hostX.comstage.net/>)

※「X」には数字が入ります。登録完了通知書でご確認ください。

各種設定情報の管理ご担当者は本 URL の管理画面にログインすることで、「管理者パスワード・FTP パスワード・ユーザーごとのメールアドレス及びパスワード・転送先メールアドレス・自動応答メール※」の設定が行えます。

※ 旧サービス名:留守番メール

■ F ドメイン名

お客様の取得しましたドメイン名が記載されます。

■ G 管理者メールアカウント

メールの管理を行うご担当者に対しては、弊社から情報を送信する為のメールアドレスとして予め特定のメールアドレスを「postmaster@お客様ドメイン名」に設定しております。\*このアドレスは、メール転送の設定は通常のメールアカウントと同様に行うことができます。

\*このアドレスにつきましては、弊社からサービスに関する重要なお知らせをご連絡する先のアドレスとなりますので、必ず以下のいずれかの設定を行い消去しないで下さい。

◇ 転送メールの設定を行う。

管理を行うご担当者宛に「管理者メールアカウント宛のメールが転送される転送設定」を行います。

◇ 管理者が常に確認する

ご利用のメールソフトへ管理者メールアカウント(「postmaster@お客様ドメイン名」)の受信設定を行い、定期的にメールを確認できるようにします。

\* 管理者アカウントのメールパスワードは管理者 ID のパスワードと同様のものとなります。

■ H お客様ホームページ URL

ドメイン名に基づいた Web ページ公開用のアドレスが記載されています。

■ I FTP ホスト名(アドレス)

ホームページを WWW サーバにアップロードする際に利用するサーバ名が記載されています。

■ J FTP 先サーバ IP アドレス

移設のお客様は FTP ホスト名(アドレス)にこちらの情報をご入力下さい。

**■ K POP(post office protocol)ー受信メールサーバ名**

お客様がメールを受信する際にご利用されますサーバ名が記載されています。

POP サーバ名はプロバイダーから送付されます開通通知書等にも同様の項目がございますが、弊社発行の「登録完了通知書」をご参照頂くようお願いいたします。

**■ L SMTP(simple mail transfer protocol)ー送信メールサーバ名**

お客様がメールを送信する際にご利用されますサーバ名が記載されています。

SMTP サーバ名はインターネットプロバイダー(ISP)から送付されます開通通知書等にも同様の項目がございますが、弊社発行の「登録完了通知書」をご参照頂くようお願いいたします。

**■ O 送信サーバ(SMTP)ポート番号**

送信時のポート番号が記載されています。送信サーバは「587」ポートをご利用ください。

※ 弊社は、セキュリティを確保する為、SMTP 認証という認証システムを採用しております。弊社のSMTP サーバをお使い頂く際には、メールを送信する前に事前認証を受けないと、メールの送信ができないようになっております。

## 第5章 管理者ログイン画面 管理者ログイン画面への URL

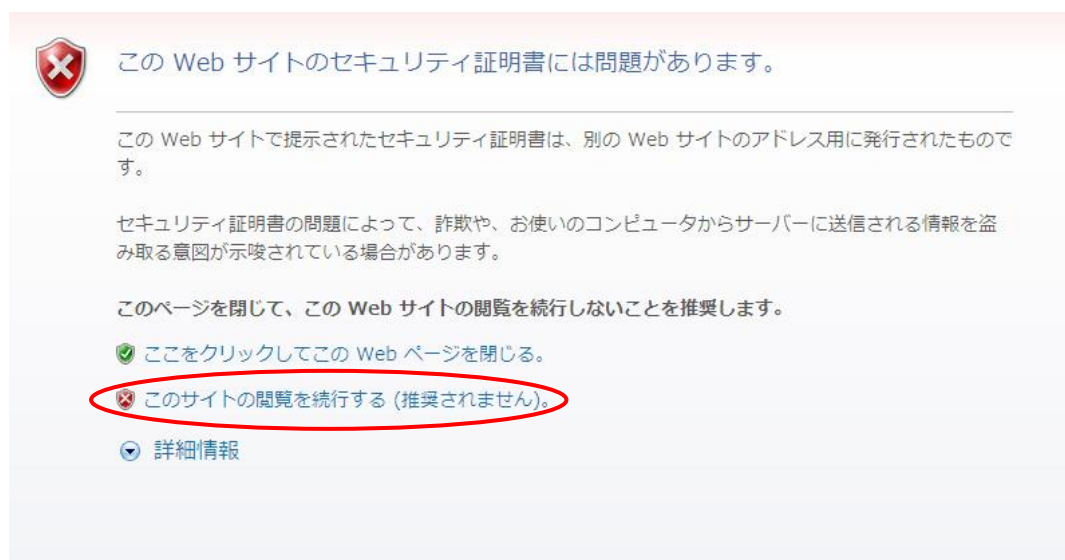
http://cp.odas.jp/hostX.comstage.net/

注: 「X」には数字が入ります。登録完了通知書で  
ご確認ください。

上記アドレスを入力ください。下記「認証の画面」が表示されます。  
表示された「キーコード」を入力して「ログイン画面に進む」をクリックしてください。  
※大文字、小文字は識別致しません



一旦、SSL 証明書エラー画面となりますが、「このサイトの閲覧を実行する」をクリックしてください。  
※通信は SSL 暗号化通信となります



ログイン画面が表示されますので、登録完了通知に有ります「ドメイン名」をログイン欄へ、「管理者パスワード」をパスワード欄へ入力しログインします。

管理者ログイン画面への接続には下記ブラウザが利用可能です。

【動作環境】

Windows2000 以降	MacOS10.1 以降
<input type="radio"/> IE6.x	<input type="radio"/> Safari2.x
<input type="radio"/> IE7.x	<input type="radio"/> Safari3.1
<input type="radio"/> IE8.x	<input type="radio"/> FireFox2.0 以降
<input type="radio"/> Mozilla1.7 以降	
<input type="radio"/> FireFox2.0 以降	

**ご注意！！必ず管理者メールアカウントが使用できるようにしておいて下さい。**

管理者アカウント(postmaster@お客様ドメイン名)につきましては、弊社からサポートやサービスに関しますお知らせをご連絡する先のメールアドレスとなりますので、必ず以下のいずれかの設定を行って下さい。

**■ 転送メールの設定を行う**

管理を行うご担当者宛に「管理者アカウント宛にメールが転送される転送設定」を行います。

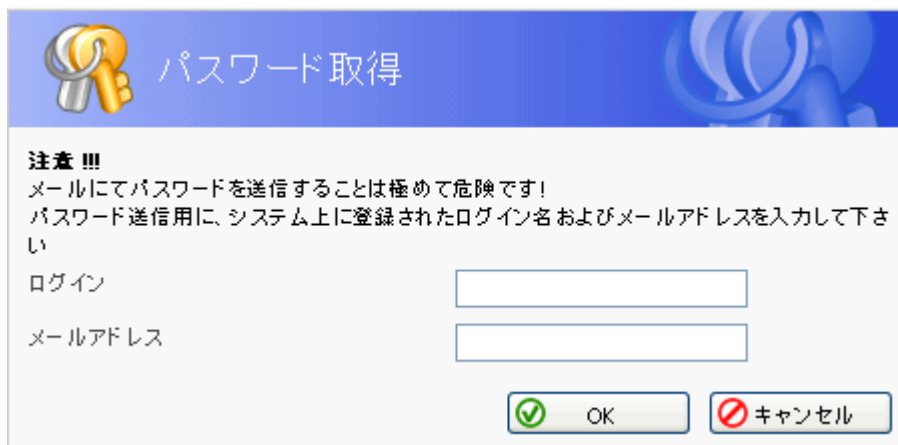
**■ 管理者が常に確認する**

ご利用のメールソフトへ「postmaster@お客様ドメイン名」の受信設定を行い、定期的にメールを確認できるようにします。

\* 管理者アカウントのメールパスワードは管理者 ID のパスワードと同様のものとなります。

**ご注意！！パスワードをお忘れになった場合**

- ① 予めお使いのメーラーに管理者メールアカウント(postmaster@お客様ドメイン名)の設定をしてあることが前提となります。
- ② 「パスワードを忘れましたか？」をクリックし、下記画面を表示させます。



**パスワード取得**

**注意!!!**  
メールにてパスワードを送信することは極めて危険です!  
パスワード送信用に、システム上に登録されたログイン名およびメールアドレスを入力して下さい

ログイン

メールアドレス

- ③ 「ドメイン名」をログイン欄へ、「postmaster@お客様ドメイン名」を E-mail 欄へ入力し、「OK」をクリックします。
- ④ 「postmaster@お客様ドメイン名」宛にパスワードが記載されたメールが届きます。
- ⑤ 再度管理者画面から「ドメイン名」と届いたパスワードにてログイン下さい。

## 第6章 管理者パスワードの変更

### 第1節 ログインをすると下記メニュー画面となります

The screenshot displays the Plesk Control Panel interface. At the top, there is a navigation bar with the Parallels logo and a 'ログアウト' (Logout) button. The main content area is titled 'マイデスクトップ' (My Desktop) and features a 'Plesk Control Panel ニュース' (Plesk Control Panel News) section. This section contains three news items: 'DNS SOA 番号フォーマットの変更 (GUI)', 'データベースサーバ選択の権限', and 'PLESK 請求バンドル'. Below the news, there are two 'ツール' (Tools) sections. The left 'ツール' section lists actions like 'ドメイン管理者アカウントを設定する', 'サイトアプリケーションをインストールする', 'データベースを作成する', and '自動応答を作成する'. The right 'ツール' section lists actions like 'ドメインのファイル管理', 'Web ホスティング設定の表示', 'Web ユーザーアカウントを作成する', and 'メールアドレスを作成する'. On the far right, there is a '統計' (Statistics) section showing usage metrics for subdomains, mailboxes, and disk space. A left sidebar contains navigation links for '一般' (General), 'システム' (System), and 'ヘルプ & サポート' (Help & Support).

管理者パスワードを変更する場合は「ホーム」から



をクリックします

ComStage Server  
Parallels Virtuozzo コンテナについて ログアウト Parallels™

ドメイン neojapan.com

ドメイン

レポート 制限 ドメインエイリアス **ドメイン管理者** バックアップ

サービス

メール データベース

ホスティング(ドメインは IP アドレス 218.219.65.105 上で物理ホスティングされています)

設定 削除 Webユーザ サブドメイン 保護ディレクトリ ログマネージャ ファイルマネージャ Web アプリケー サイトプレビュー

パフォーマンス

情報

リソース	使用	許可
有効期限	7月 7, 2009	無制限
ディスク容量	0 B	1.95 GB
トラフィック	0 B/月	無制限
サブドメイン	0	5
ドメインエイリアス	0	無制限
Webユーザ	0	0
メールボックス	0	無制限
転送	0	無制限
メールグループ	0	無制限
自動応答	0	無制限
メールタリスト	0	0
データベース	0	無制限
Java アプリケーション	0	0

© Copyright 1999-2008, Parallels All rights reserved

セキュリティ保護のために、定期的にパスワードはご変更下さい。

## 第2節 管理者パスワードの変更の方法

The screenshot shows the 'neo-japan.com' domain administrator account settings. The 'Profile Information' section includes fields for domain name, login name, and password. The 'Permissions' section lists various system management options, all of which are currently enabled. The 'Domain Administrator Information' section contains fields for personal and contact details, including a postmaster email address.

**← ①パスワード**  
管理画面に入るための  
ログインパスワード

**← ② postmaster アドレス**  
こちらのアドレスは弊社からの  
アナウンスメールが届くアドレスになるので  
変更しないでください。



**プリファレンス**

ドメイン名 \* WWW  neojapan.com

ログイン neojapan.com

古いパスワード \*\*\*\*\*

新しいパスワード

パスワードの確認

ボタンラベルの長さ

ドメイン管理者の言語 JAPANESE (Japan) ▼

ドメイン管理者のインターフェーススキン WinXP Reloaded Compact ▼

同じパスワードを 2 度  
ご入力ください。

こちらの画面でアカウント情報や、パスワードの変更を行うことができます。

**ドメイン管理者**

個人名

企業名

電話番号

ファックス

メールアドレス

アドレス postmaster@御社ドメイン

都市

州

郵便番号

国 Japan ▼

弊社からのメールが届くアドレスになりますので変更せぬようご注意ください。  
例) postmaster@neojapan.com

- ① ホームより「ドメイン管理者アイコンをクリックします。
- ② パスワード欄とパスワードの確認欄に同じ任意の文字列 5 文字以上 14 文字以内のパスワードを入力します。
- ※ **重要: E-mail 欄の postmaster@お客様ドメイン名は変更しないで下さい。**
- ③ ドメインユーザー情報も入力しておいて下さい。
- ④ 入力をやり直したい場合や間違っして入力してしまった時は「キャンセル」ボタンをクリックし、再度①から作業してください。
- ⑤ OK をクリックして変更を保存してください。
- ⑥ ホーム画面に戻ります。

**※注意点**

パスワードを忘れた場合は、コントロールパネルのログイン画面の「パスワードを忘れましたか？」(第5章)から問い合わせができます。

## 第7章 Applitus Server VALUE 管理メニューの機能

Applitus Server VALUE 管理メニューでは以下の機能がご利用になれます。  
ログイン後、「ホーム」をクリックすると下図の「管理者ホーム画面」が表示されます。

● ● ドメイン neojapan.com

ドメイン管理機能  
第1節(サーバ環境)

サービス管理機能  
第2節(メールサービス)

ホスティング管理機能  
第3節(Webホスティング)

サーバ環境情報一覧

リソース	使用	許可
有効期限	7月 8, 2009	無制限
ディスク容量	988 KB	2.00 GB
トラフィック	0 B/月	無制限
サブドメイン	0	5
ドメインエイリアス	0	無制限
Webユーザ	0	0
メールボックス	3	無制限
転送	0	無制限
メールグループ	0	無制限
自動応答	0	無制限
メーリングリスト	0	0
データベース	0	無制限
Java アプリケーション	0	0

### 第1節 ドメイン管理機能 (お客様情報管理、レポート機能)

#### 第1項 リポート

お客様設定環境に関する情報を取得することができます。「ドメイン」メニューの中にある「リポート」機能より、プリンターで印刷する場合は、「印刷」アイコンをクリックしてください。レポートをメールで送信する場合は、送信先のメールアドレスを入力して「メールにて送信」アイコンをクリックしてください。

その他下記ツールにて各種レポートをご覧になることができます。

トラフィックの履歴を御覧になりたい、履歴の保存期間を管理したい場合は、「トラフィック履歴」アイコンをクリックしてください。

ドメイン内のサービス(FTP、HTTP、POP3、SMTP等)のトラフィックを御覧になりたい場合は「トラフィック」アイコンをクリックしてください。

Webサーバのログ分析を御覧になりたい場合は、「Web 統計(通常の Web)」アイコンか「Web 統計 SSL(SSL)」アイコンをクリックしてください。<【付録1】に見方をご紹介しますので参照ください。>

FTPサーバの統計を御覧になりたい場合は、「FTP 統計」アイコンをクリックしてください。

概要レポートを定期的に「指定したメールアドレス」に送りたい場合には、「レポートの送信」アイコンをクリックして設定を行ってください。なお、「Webalizer プリファレンス」、「レポート機能」は、本サービスではご利用になれません。

\* レポートレイアウトのカスタマイズ

どのセクションのドメインレポートを表示するか定義することで、レポートのレイアウトをカスタマイズすることができます。「カスタマイズ」アイコンをクリックすると、カスタムレポートレイアウトページが表示され、既存のレポートレイアウトが表示されます。デフォルト設定では「概要レポート」になっておりますのでプルダウンをクリックし「フルレポート」を選択すると全ての情報がこちらの画面で表示されます。

neojapan.com >

Web サイトレポート



ツール



概要レポート

概要レポート ▼ **カスタマイズ**

一般 | [ホスティング](#) | [Webユーザ](#) | [メールアカウント](#) | [メールングリスト](#) | [データベース](#) | [Java アプリケーション](#) | [サイトアプリケーション](#)

▲ 一般

ドメイン名	neojapan.com
プロバイダー連絡名	コムステージサーバ
ドメインの状態	
作成日時	7月 7, 2009
有効期限	無制限
ドメイン管理者	オン
ディスク容量制限	2.00 GB
サイズ	988 KB
トラフィック制限	無制限
トラフィック	0 B/月
ローカルレポートリにおけるバックアップファイルのサイズ	0 B

<レポート画面>

レポートフォーム

レポート名 \*

一般  無  概要

ホスティング  無  概要

Webユーザ  無  概要  フル

メールアカウント  無  概要  フル

メールングリスト  無  概要  フル

データベース  無  概要  フル

Java アプリケーション  無  概要  フル

サイトアプリケーション  無  概要  フル

デフォルトレポートとして使用します

\* 必須フィールド

## 第2項 制限

ホーム>ドメイン>制限 を開くとお客様のサービススペック等の情報を確認することができます。

neojapan.com >  
ドメイン neojapan.com の制限 上へ

制限	
最大サブドメイン数	5
最大ドメインエイリアス数	無制限
ディスク容量	2048 MB
トラフィックの上限量	無制限
最大 Web ユーザ数	0
最大データベース数	無制限
最大メールボックス数	無制限
メールボックスクォータ	無制限
最大メール転送数	無制限
最大メールグループ数	無制限
最大メール自動応答数	無制限
最大メールリングリスト数	0
最大 Java アプリケーション数	0
有効期限	無制限

OK

### 【基本設定】

- ・サブドメイン 5つまで設定できます。(無料オプション。但し DNS 登録料が必要。)
- ・ディスク容量 メール・Web の領域をあわせ 2GB です。  
100MB 毎に増設ができます。(増設は有料オプションです。)
- ・トラフィックの上限 月間のトラフィック上限は特にありません。
- ・Web ユーザ 任意のサブディレクトリを管理できます。
- ・データベース mysql が利用できます。
- ・メールボックスの上限 メールアカウントは無制限に作成、ご利用になれます。
- ・メールボックスのクォータ ディスク容量内では特にパーティション(制限)を設けていません。
- ・メール転送の上限 転送先に制限はありません。但し1メールにつき15MBが最大のデータ送信量となります。
- ・メールグループの上限数 メールグループ(同報通信リスト)数の制限はありません。
- ・メール自動応答の上限数 メール自動応答の数に制限はありません。
- ・Webアプリケーション Webアプリケーションの制限はありません。
- ・有効期限 契約は1年単位に更新となります。(設定上は無制限と表示されます。)

### 第3項 ドメイン管理者

ドメイン管理者のアカウント情報や、パスワードの変更を行うことができます。

ドメイン>ドメイン管理者アイコンをクリックします。

neojapan.com >  
ドメイン管理者アカウントプロパティの編集

**プリファレンス**

ドメイン名 \* WWW  neojapan.com

ログイン neojapan.com

古いパスワード \*\*\*\*\*

新しいパスワード

パスワードの確認

ボタンラベルの長さ

ドメイン管理者の言語 JAPANESE (Japan)

ドメイン管理者のインターフェーススキン WinXP Reloaded Compact

デスクトッププリセット Default Domain Owner Desktop

複数セッションを許可する

インターフェース画面が完全に表示されるまで、ユーザがコントロールパネル上での作業を行えないようにする

**←ログインパスワード設定欄**

登録中のパスワードは非表示となります。  
パスワードを紛失された場合は新しいパスワードを再設定下さい。

パーミッション設定 : 登録時に設定されております。

パーミッション	
Web 統計管理:	はい
ユーザインターフェース:	デスクトップビュー および標準ビューを表示
デスクトップ管理:	はい

ドメイン管理者 : メールアドレス ([postmaster@御社ドメイン](mailto:postmaster@御社ドメイン)) 以外の項目記入します。

**ドメイン管理者**

個人名

企業名

電話番号

ファックス

メールアドレス

アドレス

都市

州

郵便番号

国 Japan

**←お客様情報記入欄**  
※メールアドレスは変更しないでください

## 第4項 バックアップ

サーバに設定してあるお客様情報のバックアップができます。

### ※【お客様へのお願い】

バックアップを取得することは可能ですが、リストア作業をお客様の権限で実施しますとエラーになってしまいます。恐れ入りますが、リストアを希望される場合は、まずは弊社へご相談頂きますようお願い致します。



### 【バックアップ／復元機能の概要】

本機能を使用するためには、ドメイン管理ページの「バックアップ」アイコンをクリックしてください。

バックアップファイルのページが表示され、バックアップツール、保存されたバックアップファイルとそのプロパティが表示されます。



### 【バックアップ作業手順詳細】

- 1) バックアップマネージャ「ツール」メニューより「バックアップを実行する」アイコンをクリックします。  
「新しいバックアップの作成」ページが表示されます。



- 2) 確認画面が表示されますので「バックアップを実行する」ボタンをクリックします。  
バックアップ作業が自動的に開始されます。



バックアップが完了しますと以下の画面が表示されます。

neojapan.com >  
ドメイン neojapan.com はバックアップされました ショートカットを作成する 上へ

---

詳細

名前	値
コメント	ドメイン neojapan.com のバックアップ   Plesk のバックアップ機能により生成されました。   作成日時: Jun 8, 2009 06:49 PM
サイズ	129 K
作成日時	Jun 8, 2009 06:57 PM
名前	neojapan.com_2009.06.08_18.49

作業が完了後、「OK」ボタンを押すと「バックアップマネージャ」の画面にもどり、作成したバックアップファイルが画面下方に名称、作成日時と伴に表示されます。

全 3 存在するバックアップファイル, トータルサイズ: 387 kb ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	S	名前 ▲	作成日時	コメント	サイズ	
<input type="checkbox"/>		<a href="#">neojapan.com_2009.06.08_17-50-01</a>	Jun 8, 2009 05:50 PM	Scheduled backup of the domain ...	129 KB	
<input type="checkbox"/>		<a href="#">neojapan.com_2009.06.08_18-50-01</a>	Jun 8, 2009 06:50 PM	Scheduled backup of the domain ...	129 KB	
<input type="checkbox"/>		<a href="#">neojapan.com_2009.06.08_18.49</a>	Jun 8, 2009 06:57 PM	ドメイン neojapan.com ...	129 KB	

全 3 存在するバックアップファイル, トータルサイズ: 387 kb ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

3) バックアップファイルのプロパティの閲覧、削除は以下を実行します。

バックアップドメインのプロパティを閲覧するためには、「バックアップマネージャ」メニューより、バックアップファイル名をクリックしてください。基本操作は下記の通りです。

- ① バックアップファイルをお手元のパソコン等に保存するためにはバックアップマネージャの一覧画面から、  
 アイコン をクリックしてください。
- ② バックアップファイルの削除は、削除したいバックアップファイルのチェックボックスをチェックして、「× 選択対象を削除」をクリックしてください。

ツール

バックアップを実行する   計画済みバックアップ   ローカルホストリにファイルをアップロードする   更新

---

存在するバックアップファイル

選択対象を削除 検索を隠す

全 3 存在するバックアップファイル, トータルサイズ: 387 kb ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	S	名前 ▲	作成日時	コメント	サイズ	
<input type="checkbox"/>		<a href="#">neojapan.com_2009.06.08_17-50-01</a>	Jun 8, 2009 05:50 PM	Scheduled backup of the domain ...	129 KB	
<input type="checkbox"/>		<a href="#">neojapan.com_2009.06.08_18-50-01</a>	Jun 8, 2009 06:50 PM	Scheduled backup of the domain ...	129 KB	
<input type="checkbox"/>		<a href="#">neojapan.com_2009.06.08_18.49</a>	Jun 8, 2009 06:57 PM	ドメイン neojapan.com ...	129 KB	

全 3 存在するバックアップファイル, トータルサイズ: 387 kb ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

【バックアップを自動化(スケジューリング)する場合】 ※自動化はお奨めしません。

- 1) 管理者ホーム画面より「バックアップ」アイコンをクリックします。  
バックアップのページを表示します。



- 2) 「計画済バックアップ設定」アイコンをクリックしメニューに入ります。


各項目に必要な事項を入力します。

- ①- [バックアップ時間] – バックアップを取る時間を設定頂けます。
  - ②- [バックアップ期限]を選択出来ます。(日次、週、月次)
  - ③- 選択した保存場所に、バックアップファイルの最大保存数を設定します。  
※注意: 設定した数を超えると、保存場所にある古いバックアップファイルから順番に消去されます。
  - ④- バックアップファイルの名前(プリフィックス)を入力します、
  - ⑤- エラーが発生した場合メールで通知致します。アドレスをご入力ください。
- [OK]をクリックすると設定が完了します。  
- 必ず[ツール]ボタンがスイッチオフと表示され、上部に[スケジュール済みバックアップです。]と表示されていることを確かめてください。✖と表示されている場合は無効となっています。

neojapan.com > バックアップマネージャ >

スケジュール済みバックアップ



ツール			
 スイッチオフ			
タスク			
バックアップ時間	18 hh : 44 mm	①	
バックアップ期間	日次	②	
レポジトリに保存されるバックアップファイル数	<input type="checkbox"/> 無制限	③	
バックアップファイル名にプレフィックスを追加する	<input type="text"/>	④	
バックアップ中エラーが発生した場合、通知をメールで送信	<input type="text"/>	⑤	
バックアップファイルレポジトリ			
ファイルの保存先	<input checked="" type="radio"/> ローカルレポジトリ		
	<input type="radio"/> FTP レポジトリ (FTP アカウントが指定されていないため、サポートされていません)		
マルチボリュームバックアップを作成する	<input type="checkbox"/> ボリュームサイズ 2047 MB		
			<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>



## 第2節 サービス管理機能(メールサービスの設定)

### 第1項 メールメニュー

【メールサービスに関して以下の管理機能をご利用いただけます】

- ・ メールアドレスの作成、編集、削除と個々のメールボックス容量を制限する。
- ・ メールユーザーがコントロールパネルにアクセスして、自分のメールボックスの設定変更を可能にする。
- ・ 単独のメールアドレスを複数のエイリアス(別名)で使用する。
- ・ メールを他のメールアドレスへ転送するための設定をする。
- ・ メールアドレスを一度に多数の他のメールアドレスへ転送できるメールグループとして設定する。
- ・ メールアドレスでメールグループの運用を行う。
- ・ メールアドレスに送信されたメールへの自動応答を設定する。
- ・ 受信メールに対する統合的なスパムフィルタ機能を個別に管理・設定する。
- ・ 個々のメールアドレスに対し、アンチウイルス機能を個別に管理・設定する。

#### 1-1 メールアドレスの管理・メールリングリストの管理

「メール」アイコンをクリックします。



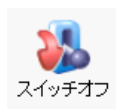
##### 1) 新しいメール名を追加(メールアカウントの作成)

ユーザーのメールアカウントを作成すると、POP3 プロトコル経由で接続可能なメールボックスが作成されます。メールの作成はアカウント名とパスワードを入力するだけで完了します。

【1-2 メールアカウントの作成】を参照ください。

##### 2) メールサービスの有効設定

管理者により、お客様のメールサービスを有効・無効にすることができます。

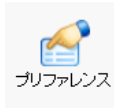


現在、有効です。クリックすると無効になります。



現在、無効です。クリックすると有効になります。

### 3) 選択設定



アイコンをクリックすると下記の画面が表示されます。設定した内容は、作成された全てのメールアドレスに反映されます。

neojapan.com > メール > メールプリファレンス ショートカットを作成する 上へ

---

**プリファレンス**

存在しないユーザーへのメール

テキストつきで返信します This address no longer accep  
 キャッチ転送 info@pp2.jp  
 拒否

Webメール

送信メールメッセージを電子署名するために DomainKeys SPAM 検知システムを利用する  (サーバポリシー)

a.「存在しないユーザーへのメール」は存在しないメールアドレスへメールが来た場合の処理について設定します。

「◎テキストつきで返信します」を選択した場合は、入力されたテキストで返信します。

「◎キャッチ転送」を選択した場合は、該当メールを入力されたアドレスへ転送します。

**「◎拒否」を選択した場合は、該当メールを一切受信しません。(規定値:強く推奨します。)**

※成りすましや架空のアドレスへのスパムメール対策のためにも本設定は変更なされないことをお奨めします。

b. Web メールは本サービスではご利用になれません。(チェックをしても利用できません。)

## 1-2 メールアカウントの作成

新しいメールアドレスを作成するには、以下の作業手順を実行します。

メールアドレスとは？

- メールアドレス(メール名)
- パスワード
- コントロールパネルアクセス権限
- 割り当てられたメールボックス(スパムフィルタ)で構成されます。



- 1) 新しいメールアドレスの追加をクリックします。ページが下記のように表示されます。

**メールアカウントプロパティ**

メールアカウント名 \*  @neojapan.com

古いパスワード

新しいパスワード

パスワードの確認

---

**コントロールパネルアクセス**

ボタンラベルの長さ

インターフェイス言語

インターフェイススキン

複数セッションを許可する

インターフェイス画面が完全に表示されるまで、ユーザがコントロールパネル上での作業を行えないようにする

---

**メールボックス**

メールボックス

メールボックスクォータ

ドメイン(無制限)のデフォルト設定

サイズ入力  KB

---

\* 必須フィールド

- 2) メール名フォームの欄にご希望のメールアドレス名とパスワードをそれぞれ入力します。  
 上記で入力したメールアドレスとパスワードは、ドメイン名をのぞきメールアドレス、パスワードとしても設定されます。  
 ※パスワードには、メール名と同じものは使用できません。
- 3) 各メールユーザーにコントロールパネル(個別の管理画面)へのアクセスを許可する場合は、「コントロールパネルへのアクセスを許可する」をチェックし、「インターフェイス言語(Japanese: 日本語)」、「インターフェイススキン(画面カラーデザイン)」、「複数セッションを許可する(同時アクセス設定の許可:通常は不可とし、チェックボックスにはチェックを行いません)」、「インターフェイス画面が完全に表示されるまでは、ユーザーはコントロールパネルの操作を行えません:通常は OK とし、チェックボックスにチェックを入れます。」をそれぞれ選択します。
- 4) 設定するメールアドレス用にメールボックス(メール保管領域)を設定するために、「メールボックス」チェックボックスをチェックし、「メールボックスクォータ」(個人メールボックスの容量制限を設定する場合)を設定します。(通常は、ドメインのデフォルトを選択していただいて構いません) なお、サイズを入力する際には、契約されているディスク容量(基本契約は 2GB)を超えて設定することは出来ません。
- 5) 「OK」ボタンをクリックして作成を完了します。

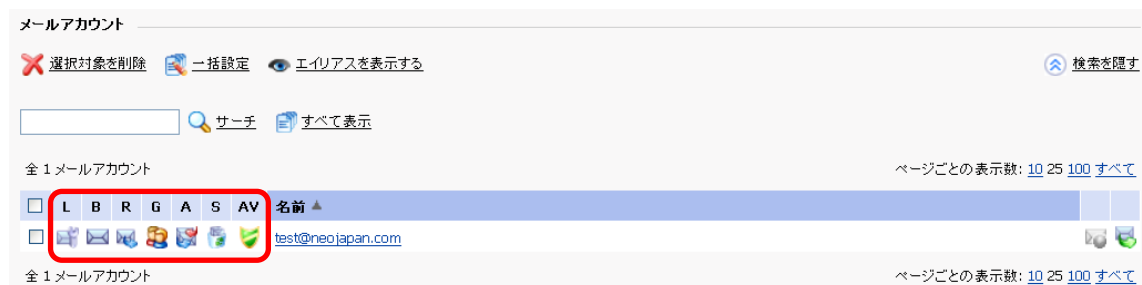
**ご注意！！**

メールアドレスで使用できる文字は、“半角英数小文字” “. ピリオド” “\_ アンダーバー” “-ハイフン”、パスワードで使用できる文字は“半角英数小文字” “半角英数大文字” “. ピリオド” “\_ アンダーバー” “-ハイフン” となります。但し、RFCに準拠しないメールアドレス（例：@直前に“. ピリオド”を配したメールアドレスなど）のご利用については、動作の保証は致しかねます。

また、メールアドレスにつきましては、送信先の環境により大文字を使用していることで不具合を引き起こす場合があります。大文字で指定された文字は、登録時に自動的に小文字に変換されます。また、文字数につきましてメールアドレスは @ およびドメインの文字数を含み 64 文字以内、パスワードは 5 文字以上 14 文字以内で、かつメールアドレスと異なるように設定してください。

### 1-3 メールアカウントの設定状況を確認する

メール名作成後、メール名のリストには7つのアイコンが表示されます。一覧で確認できます。



#### a) メールアカウントの設定状況:

- L: メールユーザーの設定を表します。
- B: メールボックスの設定の有無を表します。
- R: メール転送の有無を表します。 (※未設定や設定無効の場合、各アイコンはグレーになっています。)
- G: メールグループの設定の有無を表します。 (※未設定や設定無効の場合、各アイコンはグレーになっています。)
- A: メール自動応答の設定の有無を表します。 (※未設定や設定無効の場合、各アイコンはグレーになっています。)
- S: スпамフィルタの設定の有無を表します。 (※未設定や設定無効の場合、各アイコンはグレーになっています。)
- AV: アンチウイルス機能の設定の有無を表します。 (※必ず設定頂けますようお願い致します)

個別にメールアカウントの設定を編集するには、メール名をクリックするか、7つの設定したいサービスのアイコンをクリックしてください。

#### b) メールアドレスのエイリアス(別名)の表示:

リスト内にメール名(メールアドレス)のエイリアス(別名)を表示するためには、「エイリアスを表示する」をクリックしてください。また、逆に隠したい場合は、「エイリアスを非表示にする」をクリックしてください。

#### c) メールアカウントの削除

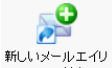
特定、もしくは複数のメールアカウントを削除するには、メール名リストにある削除したメールのチェックボックスをチェックして「× 選択対象を削除」をクリックしてください。

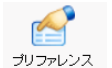
## 1-4 メールアカウントの個別設定を行う

メールアカウントをクリックすると、個々のメールアカウントのプロパティページが表示されます。このページからメールサービスのさまざまな設定(メールエイリアス、メールボックス、転送、メールグループ、自動応答、SPAMフィルタ、アンチウイルス、メーリングリスト等)を行うことができます。

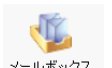
- 1) 管理者ホーム画面の「メール」アイコンをクリックするとメール名のページが表示されます。
- 2) 編集したいメール名をクリックします。(下記は個別設定画面)「ツール」「情報」の各項目からメールサービスの設定を行います。



- 3)  「メールエイリアス」ではメールアドレスのエイリアス(別名)を設定します。メールエイリアスを追加したい場合は、「新しいメールエイリアスを追加」をクリックしてください。メールエイリアスを設定すると「エイリアス名がメールアドレス」として使用できるようになります。  
メールエイリアスを編集するには、メールエイリアス名をクリックしてください。  
メールエイリアスを削除したい場合は、該当メールエイリアスのチェックボックスをチェックして「× 選択対象を削除」をクリックしてください。

- 4)  メールアカウントの「インターフェイス言語(使用言語)」、「インターフェイススキン(画面デザイン)」、「パスワード」、「個別のコントロールパネルへのアクセス許可」等を変更する場合は、「選択設定」アイコンをクリックして設定してください。

※ ユーザーログインについては、P35「メールユーザーログイン」をご参照ください

- 5)  メールボックスクォータ(容量割当)とスパムフィルタリングの有効・無効を設定するには「メールボックス」アイコンをクリックして設定してください。

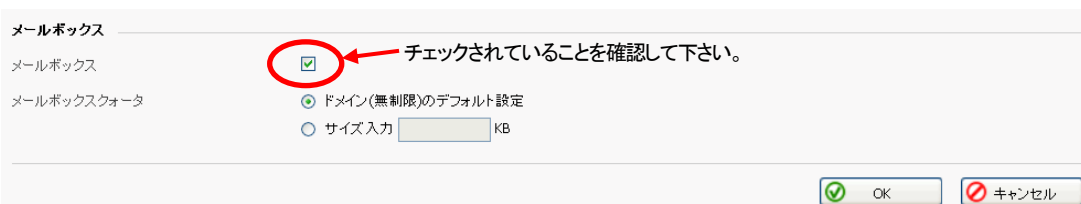
- 6)  転送 メール転送を設定するには「転送」アイコンをクリックして設定してください。
- 7)  メールグループ メールグループを作成して、新たにメンバーを追加したい場合は「メールグループ」アイコンをクリックして設定してください。
- 8)  グループ 既存メールグループのメンバーを管理するためには「グループ」アイコンをクリックして設定してください。
- 9)  自動応答 自動応答や自動応答時の添付ファイルを設定したい場合は「自動応答」アイコンをクリックしてください。
- 10)  SPAM フィルタ スпамフィルタの詳細を設定するには「スパムフィルタ」アイコンをクリックして設定してください。
- 11)  アンチウイルス アンチウイルス機能の詳細を設定するには「アンチウイルス」アイコンをクリックして設定してください。
- ※ ウィルスメールを受信しないため、必ず設定ください。

## 1-5 機能詳細

### ■ メールボックスの管理

この機能を使用すると、メールボックスクォータ(容量割当)の設定を行うことができます。

- 1) メール名のプロパティページで「メールボックスアイコン」をクリックします。



メールボックス

メールボックス

メールボックスクォータ

チェックされていることを確認して下さい。

ドメイン(無制限)のデフォルト設定

サイズ入力  KB

OK キャンセル

- 2) メールボックスを有効にするために、「メールボックスチェックボックス」をチェックします。

- 3) メールボックスクォータ(個別メールボックスの容量の割当)を設定するために、

◎ ドメインのデフォルト

◎ サイズを入力してください。  KB

のどちらかを選択し、必要な数値を入力します。

サイズを指定する場合は、契約によりお客様に割り当てられた全体のディスク容量を超えることはできません。(基本契約は2GBです。)

6) 「OK」ボタンを押して、設定を保存します。

※ 一度、有効化するとメール名のページにあるメールボックスアイコン「B」がグレーからカラーになります。

## ■ 転送の管理

ひとつのメールボックスから他のメールアドレスへメールを転送することができます。

メールの転送かエイリアス(別名)を設定することで、メッセージを異なるメールアドレスへ転送することができます。メールは他のドメインに属する外部のメールアドレスへも転送できます。以下はこの機能を使う想定される場面です。

- ▶ メールボックス利用者の事情で、一時的にメールの転送が必要になった。
- ▶ メールボックス利用者の退職にともない、メールを新しい担当者のアドレスへ転送する。
- ▶ 新しいアカウントへメールを転送して、古いメールボックスと置き換える。 等々

転送を設定するには以下の作業を行ってください。

- 1) メール名のプロパティページで「転送」アイコンをクリックしてください。
  - 2) 転送チェックボックスをチェックし、右側のテキスト入力欄に転送先のメールアドレスを入力します。
  - 3) 「OK」ボタンをクリックして完了です。
- ※ 転送設定が有効化されると、メール名のページに表示されています転送アイコン「R」がカラーになります。
- ※ 転送設定後にメールボックスに届いたメールより適応となります。
- ※ 転送設定後に以前のメールアカウントにメールを残さない場合、「情報」-「メールボックス」をOFFにして下さい。

## ■ メールグループ(同報配信先グループ)の管理

複数へ同時配信をされる場合はこちらの機能をご利用下さい

メールグループは、一つのメールアドレスで複数のメールアドレスをグループ化(同報化)したものです。

この機能は、一度に一つのメッセージを複数の箇所へ送信することを可能にします。

たとえば、ある会社のテクニカルサポート部門において一つのメッセージを5人に送りたい場合、5人のメールアドレスを含む「サポート」という名前のメールグループを作成します。誰かが「サポート」という名前のメールグループにメールした場合、一つのメッセージを送信するだけで、メッセージのコピーが「サポート」メールグループの5人のメンバー全員に届きます。メッセージの送信者は5人のそれぞれのアドレスについてメッセージを送信する必要はありません。

メール名のメールグループ設定を有効にするために、以下の作業を行ってください。

- 1) メール名のプロパティページで「メールグループ」アイコンをクリックします。
  - 2) メールグループを有効にする前に、最低でも一つのメンバーをメールグループに追加する必要がありますので、「新規メンバーを追加」アイコンをクリックしてメンバー追加を行います。
  - 3) メンバーに加えるメールアドレスを「E-mail」欄に直接タイプ入力するか、「メール名」リスト内のメールアドレスをチェックボックスをチェックして、「OK」ボタンをクリックしてください。
- ※ メールグループのメンバーには外部ドメインのメールアドレスも含めることができます。
- 4) 選択されたメールアドレスは、メール名のプロパティページ内のメールグループリストに表示されるようになります。



- 5) メールグループのメンバーを個別に削除するには、該当メンバーのチェックボックスをチェックして、「× 選択対象を削除」をクリックしてください。

※ 有効になりますと、メール名のページのメールグループアイコン「G」がカラーになります。

## ■ グループ管理

ドメイン内に作成された全てのメールグループ(同報配信グループ)を表示します。

2つのタイプのリストが表示されます。右側が現在利用しているメールグループで、左側が利用可能なメールグループです。

※ 注意点:

メールグループからメール名を削除し、これが最後のメールグループのメンバーであった場合、メールグループは無効となります。したがって、そのメールグループの名前は追加可能なメールグループのリストには表示されなくなります。

- 1) 新しいメールグループ(同報配信グループ)に加入した場合は、使用可能なメールグループリストから希望するメールグループを選択し、「追加」をクリックしてください
- 2) 既に参加しているメールグループ(メーリングリスト)から削除したい場合は、右側のリストから選択して、「削除」をクリックしてください。

## ■ 自動応答の管理

メールの自動応答は、受信したメールが自動応答に設定されたメールアドレス宛だった場合に、自動的に応答メールを返信します。自動応答は、テキストメッセージと添付ファイルを自動返信することができます。このメール機能は、外出中やなんらかの理由でメールボックスをチェックできないユーザーに便利な機能です。自動応答の管理画面では、自動応答のための添付ファイルのアップロード機能や該当アカウントの自動応答機能の有効化機能、自動応答のリストを管理できます。

該当メール名のメール自動応答を設定し、機能を有効にするためには、以下の作業を行ってください。

- 1) メール名のプロパティで、「自動応答」アイコンをクリックします。  
自動応答の管理画面が表示されます。
- 2) 「新しい自動応答を追加」アイコンをクリックします。  
自動応答の作成／編集画面が表示されます。
- 3) 自動応答名を入力します。(必須項目) 続いて、不在時の転送先メールアドレスを入力します。
- 4) 「指定ワード」の入力欄の下にある選択項目を設定することにより、自動応答がサブジェクト内やメール本文にある「特定のテキスト(フレーズ)」や「文字列」に反応して応答するか、もしくは全てのメールに対して自動応答するかを決めることができます。「特定のテキスト(フレーズ)」か文字列を「指定ワード」入力欄に設定し、その対象を「メールの件名・題名(Subject)」か「メール本文」か適切なボタンを選択してください。
- 5) どのようなテキストを含んでいようが、自動応答が常時応答するように設定するためには、「常に返信をする」を選択してください。
- 6) 「返信時の件名」を設定することで、自動応答に使用される「メールの件名」を指定します。単純に受信したメールと同じ件名で返信したい場合は、デフォルト設定のままにしておきます。特定の件名に限定したい場合は、テキストボックスの横にある「ラジオボタン」をチェックし、必要なテキストを入力してください。
- 7) 「返信」では自動応答メッセージに設定される返信先アドレスを指定できます。これは、自動返信されたメ



ールを受け取ったユーザーがメールクライアントソフトでメッセージに返信を行った場合、自動応答自身へ返信させないときに使用します。(ループすることを防ぐ)

- 8) 自動応答の返信の際に使用される書式(テキスト形式/HTML形式)を入力します。
- 9) 「新しい添付ファイルを追加」ボタンをクリックすると、自動応答時に添付ファイルも含めることができます。これらのファイルはメール名のプロパティページから既にアップロードされている必要があります。添付ファイルのリストよりアップロードされたファイルを選択して、「新しい添付ファイルを追加」ボタンをクリックして、自動応答にファイルを添付します。  
添付ファイルを削除する場合は、該当ファイルのチェックボックスをチェックして、「×選択多対象を削除」をクリックしてください。
- 10) 同一メールアドレスから何通かのメールを受信した場合、同メールアドレスに対する自動応答に関して頻度の制限を設定することができます。  
「同一のアドレスへの返信上限回数」の項目では一日に何回まで自動応答するか設定できます。デフォルト設定では同一メールアドレスに対して一日10回まで自動返信します。
- 11) 自動応答に特定のメールアドレスを記憶しておくことができます。希望する数値を「保存」テキストボックスに入力してください。この記憶機能を使用すると、システムに返信頻度の管理をさせることができます。
- 12) 受信メールしたメールの転送先を設定するために「受信メールの転送先アドレス」のテキストボックス欄にメールアドレスを入力してください。受信メールが予め設定した仕様をみたした場合にここで入力したメールアドレスに転送されます。
- 13) 「OK」ボタンをクリックしてください。
- 14) 有効ボタンをクリックして自動応答を有効にしてください。



#### 補足: 添付ファイルの自動返信

自動応答機能では添付ファイルを使用することができます。

自動応答の設定で添付ファイルを選択できるようにするために、自動応答管理ページの「添付ファイル」アイコンをクリックします。添付ファイルのページが開きます。このページから添付ファイルの追加、削除を行います。ファイルをアップロードするために、適切なパスとファイル名を入力し、「ファイル送信」ボタンをクリックします。アップロードした添付ファイルがファイルリストに表示されます。

これらのファイルは該当メール名に設定されたあらゆる自動応答で利用可能です。

ファイルを削除するには、削除したいファイルのチェックボックスをチェックし、「×選択多対象を削除」をクリックしてください。

## ■ スпамフィルタ管理

あらかじめスパムメールのパターンを登録しておくことにより、スパムメールを受信することなく、メールサーバ上で削除することができます。スパムメールのパターンは、メールアカウント毎にユーザ-個別に設定することができます。

(※注:スパムフィルタを設定したことによるメールの削除、紛失には充分ご注意ください。)

### ◇ SPAM フィルタサービスの設定について

スパムフィルタサービスの設定は、下記の手順にて管理者及びメールアカウント毎のいずれからも行うことができます。

- 1) メールアカウントの設定画面から「SPAM フィルタ」アイコンをクリックしてメニューに入ります。

2) [ツール]→[トレーニング]では、個別のメールボックスに現在蓄積されているメールヘッダを確認してスパムメールかどうかの判断をするためのトレーニングを行うことができます。(設定はできません。)

3) メールアドレス毎のスパムフィルタの設定を行います。

◇「プリファレンス設定」内の項目は下記の通りです。

スイッチ : 表記が「スイッチオフ」の場合、スパムフィルタ機能が ON になります。

メッセージを SPAM として判断するスコア値 : 数値が少ない程、厳しくスパム判定致します。(デフォルト7)

メールボックスに受信した際 SPAM を削除する:

チェックを入れた場合、メールボックスに届いた時点で自動削除されます。

チェックを外した場合、メールの件名にタグ(デフォルトは\*\*\*\*SPAM\*\*\*\*)を付け、メールボックスに保存されます。

### ※【お客様へのお願い】

「スコア値」を厳しく設定している場合、間違っ受信すべきメールまで自動削除される可能性があります。またデフォルト「7」の場合でも正常メールが誤検知される可能性がある為、「メールボックスに受信した際 SPAM を削除する」のチェックを外して運用頂くことをお勧め致します。

neojapan.com > メール > test@neojapan.com >

メールアカウント test@neojapan.com の SPAM フィルタを設定する ショートカットを作成する 上へ

プリファレンス **ブラックリスト** ホワイトリスト トレーニング

ツール

スイッチオフ

プリファレンス

メッセージを SPAM として判断するスコア値 \*

SPAM として認識したメッセージの場合、件名の先頭に以下のテキストを追加する

テキストを追加しない場合には、このフィールドを空のままにしておいて下さい。メッセージの件名にスコア値を明示したい場合には、\_SCORE\_ と入力して下さい

メールボックスに受信した際 SPAM を削除する

\* 必須フィールド OK キャンセル

◇「ブラックリスト」設定内の設定は下記の通りです。

リストより取得:

スパムメールのメールアドレスをタイプ入力し、OK ボタンを押下後、ユーザブラックリストに登録されます。

\*@ドメイン名にすると、そのドメインからのメールはすべてスパムと判断し指定された処理を行います。

例): \*@blackXXXXX.com (blackXXXXX.comドメインからのメールを全て対象にする)

「ブラックリスト」タブから アドレスを追加する をクリックする。

neojapan.com > メール > test@neojapan.com > ブラックリスト >

ブラックリストにアドレスを追加する ショートカットを作成する 上へ

ファイルより取得

ファイル名

UTF-8 エンコーディングにてファイルをアップロードする

リストより取得

メールアドレス

複数のアドレスは、改行して入力するか、スペース、タブ、カンマまたはセミコロンにて区切り入力して下さい。非 ASCII 文字は @ (アットマーク) 以前のアドレス部分に含めることはできません。アドレス指定には、"\*"や "?"などのワイルドカードを利用することが可能です。(例: \*@domain.com, user?@\*.com) 非 ASCII 文字のラベルを、ワイルドカード内にて利用しないようにして下さい


OK キャンセル

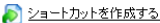
◇ 「ホワイトリスト」設定内の設定は以下の通りです。

リストより取得:

ブラックリストとは逆に、スパムでないメールのメールアドレスを入力し、OK ボタンを押下すると、ユーザホワイトリストに登録されます。\*@ドメイン名にすると、そのドメインからのメールはすべてクリーンと判断します。仮にブラックリストに登録されている場合でも、ユーザにとっては必要な相手先の場合、設定しておけばメールの受信が可能です。

例): \*@yahoo.co.jp がブラックリストに登録されている場合、taro@yahoo.co.jp をホワイトリストに登録しておけば、taro@yahoo.co.jp からのメールはスパムと見なしません。

「ホワイトリスト」タブから  をクリックする。

neojapan.com > メール > test@neojapan.com > ホワイトリスト >  
 ホワイトリストにアドレスを追加する  

ファイルより取得

ファイル名    
UTF-8 エンコーディングにてファイルをアップロードする

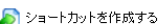

リストより取得

メールアドレス

複数のアドレスは、改行して入力するか、スペース、タブ、カンマまたはセミコロンにて区切り入力して下さい。非 ASCII 文字は @ (アットマーク) 以前のアドレス部分に含めることはできません。アドレス指定には、"\*" や "?" などのワイルドカードを利用することが可能です。(例、\*@domain.com, user?\*@\*.com) 非 ASCII 文字のラベルを、ワイルドカード内にて利用しないようにして下さい

## ■ アンチウイルス機能管理

個別のメールアカウント毎に Dr.Web アンチウイルス設定を行うことができます。

neojapan.com > メール > test@neojapan.com >  
 test@neojapan.com の Dr.Web アンチウイルスプリファレンス  

プリファレンス

メールにウイルスが含まれていないかチェック中

スイッチオフ

受信メールのみ

送信メールのみ

受信および送信メール

◇ 初期規定値はスイッチオフとなっております。「受信および送信メール」にウイルスチェックを行うに手動でご変更頂くことを推奨しております。お客様企業内で別途アンチウイルス監視システムを構築されている場合、その環境に対応した個別設定を行うことが可能です。なお、ウイルスメールは自動的に削除されます。

## ■ メールユーザーログイン

メールユーザーで PLESK にログインして、メールの設定変更を行うことができます。

※ 管理者側でユーザーログインに制限を掛けている場合は、メールユーザーログインはできません。

(P28 パーミッション参照)

### ◇ ログイン

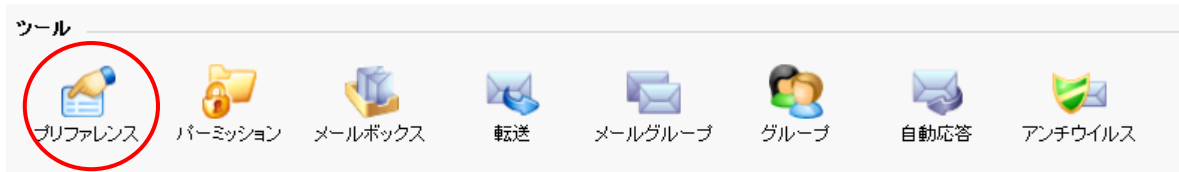
ログイン ID、パスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。

ログイン ID にはメールアドレスを入力し、パスワードにはメールアカウントのパスワードを入力してください。

※インターフェース言語は、「ユーザデフォルト」のままにしてください。

ログイン認証が正常の場合、下記画面が表示されます。

- ◇ メールユーザーログインパスワードの変更  
PLESK ログイン時のパスワードを変更します。  
「プリファレンス」をクリックします。



パスワードを入力し、OK ボタンをクリックして更新します。

test@neojapan.com >  
プリファレンス 上へ

---

**メールアカウントプロパティ**

メールアカウント名 \* **test@neojapan.com**

古いパスワード \*\*\*\*\*

新しいパスワード

パスワードの確認

---

**コントロールパネルアクセス**

ボタンラベルの長さ

インターフェース言語 **JAPANESE (Japan)**

インターフェーススキン **WinXP Reloaded Compact**

複数セッションを許可する

インターフェース画面が完全に表示されるまで、ユーザがコントロールパネル上での作業を行えないようにする

---

\* 必須フィールド

## 第2項 データベース

MySQL が利用可能です。

※ オプション申込書によって、サービスの利用申込みが必要となります。(登録は無料です。)

※ 別添: オプションサービス申込書に記入の上、弊社宛FAXにてお申し込みください。

[http://www.desknets.com/applitus/service/applications/doc/order\\_sheet-option.pdf](http://www.desknets.com/applitus/service/applications/doc/order_sheet-option.pdf)


### 【データベース/MySQL】

本機能を使用するためには、ドメイン管理ページの「データベース」アイコンをクリックしてください。

データベースページが表示され、追加されたデータベース一覧が表示されます。

### 【データベース追加手順詳細】



- 1)  アイコンをクリックします。
- 2) 下記画面より、データベース名を入力します。

neojapan.com > データベース >  
新しいデータベースの追加

新しいデータベースの追加

データベース名 \*

タイプ

データベースサーバ ローカル MySQL サーバ (MySQL のデフォルト)

\* 必須フィールド

- 3) 「OK」ボタンをクリックして作成を完了します。

### 【データベースユーザ追加手順詳細】

- 1) 新しいデータベースの追加アイコンをクリックする。

neojapan.com > データベース >  
ドメイン **neojapan.com** のデータベース **njadmin\_** のユーザ

情報: データベース njadmin\_ が作成されました

ツール

DB WebAdmin 

データベースユーザ

データベースユーザ なし

2) データベースユーザ名、パスワードを入力します。

neojapan.com > データベース > njadmin\_ >  
データベースユーザを追加njadmin\_ データベース 上へ

データベースユーザ

データベースユーザ名 \*

古いパスワード 無

新しいパスワード \*



パスワードの確認 \*

\* 必須フィールド OK キャンセル




3) 「OK」ボタンをクリックして作成を完了します。



4) 一覧より追加されたユーザを確認できます。

ツール

 DB WebAdmin  新しいデータベースユーザの追加

データベースユーザ

 選択対象を削除  DB WebAdmin のデフォルト  検索を隠す

 サーチ  すべて表示

全 1 データベースユーザ ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/> 名前 ▲
<input type="checkbox"/> test

全 1 データベースユーザ ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

### 第3節 ホスティング機能

(Web ホスティングサービス管理メニュー)

※ システム管理者の方にて操作いただきますようお願いいたします。

#### 第1項 設定

ドメイン管理ページの「設定」アイコンをクリックすると、ホスティングのスペック情報の閲覧・変更及び、ドメインの FTP アカウントの ID、パスワードが変更できます。

neojapan.com >  
ドメイン neojapan.com の物理ホスティング設定ページ [ショートカットを作成する](#) [上へ](#)

---

**IPアドレス**

IPアドレス 118.67.85.24 共有  
証明書 host7\_SSL\_2008 (管理者レポジトリ)

---

**プリファレンス**

SSL対応   
SSL 認証を受けないコンテンツと同じディレクトリに、SSL 認証を受けるコンテンツを設置する

---

**アカウントプリファレンス**

FTPログイン \* neojapan  
古いFTPパスワード \*\*\*\*\*  
新しいFTPパスワード   
パスワードの確認   
ハードディスククォータ  MB  無制限 (ハードディスククォータはサポートされていません)  
システムアクセス 拒否

---

**Sitebuilder サポート**

Sitebuilder を用いて Web サイトを作成し公開する

---

**サービス**

Apache ASP対応  (コンポーネント がインストールされていません)  
SSI対応   
PHP対応  (PHP の 'safe\_mode' を有効(On)にする)  
CGI対応   
Perl サポート   
Python サポート   
FastCGI サポート  (コンポーネント がインストールされていません)  
Miva サポート  (コンポーネント がインストールされていません)  
ColdFusion対応  (コンポーネント がインストールされていません)  
Web統計 なし  (パスワード保護ディレクトリ/jplesk-stat/経由 でアクセス可能 )  
カスタムエラーコメント

---

\* 必須フィールド  OK  キャンセル



## 第2項 Web ユーザー

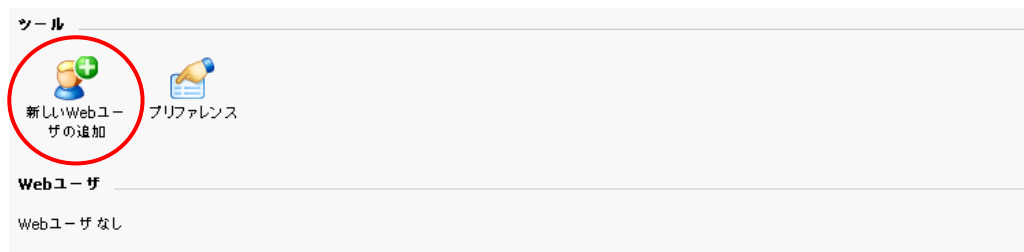
(システム管理者向け機能)※ 別途サービスの利用申込みが必要となります。(無料)

Web ユーザーとは Apache 内のユーザーカウントです。これは個別に FTP アクセスできるパーソナライズされた Web ページの場所を定義するのに使用されます。Web ユーザーを作成すると、ドメイン内にサブディレクトリを作成することができます。(例: <http://www.neojapan.com/~webuser/>)。

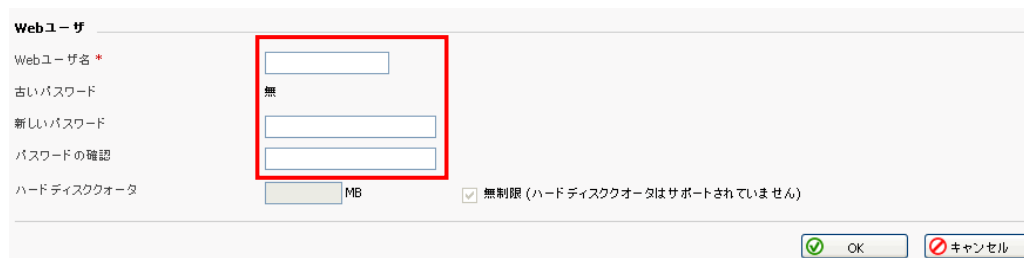
### ■ Web ユーザー作成

新規 Web ユーザーアカウントを作成するには、以下の手順を実行します。

- 1) 管理者ホーム画面で「Web ユーザの追加」アイコンをクリックしてください。Web ユーザーページが表示されます。



- 2) Web ユーザーを追加するために「新しい Web ユーザーを追加」アイコンをクリックします。Web ユーザーの設定画面が開きます。



- 3) 新しい Web ユーザー名(必須)とパスワードを入力します。

#### ※注意点1:

各 Web ユーザーは Apache 内にシステムアカウントを作成するので、同じサーバ上で同じ名前の Web ユーザーを 2 つ持つことはできません。また、ユーザー名に「mailman」という文字は使用できません。

#### ※注意点2:

引用符、スペースおよび半角英数字以外の文字をパスワードに使用しないでください。パスワードは半角 5~14 文字とし、ログイン名と同一のものは設定できません。

- 4) 必要な項目を全て入力、選択したら OK ボタンをクリックします。

- 5) Web ユーザーを作成すると、そのユーザー名が Web ユーザーページの Web ユーザーリスト内に表示されます。

#### ※注意点3:

新規 Web ユーザーは FTP ソフトウェアを使用してディレクトリにアクセスできます。その Web ユーザーアカウントが作成された先のドメインの名前を入力し、適切な Web ユーザー名とパスワードを使用してください。

※ オプション申込書によって、サービスの利用申込みが必要となります。(登録は無料です。)

※ 別添: オプションサービス申込書に記入の上、弊社宛FAXにてお申し込みください。

[http://www.desknet.com/applitus/service/applications/doc/order\\_sheet-option.pdf](http://www.desknet.com/applitus/service/applications/doc/order_sheet-option.pdf)

#### ■ Web ユーザーカウント設定編集

Web ユーザーのパスワードを変更したり、スクリプトオプションを編集するには、Web ユーザーリスト内のユーザー名をクリックしてください。Web ユーザー設定ページが開きますので、上記と同じ手順を行ってください。

#### ■ Web ユーザーカウント削除

既存の Web ユーザーを削除するには、削除する Web ユーザーのチェックボックスをチェックし、「× 選択対象を削除」アイコンをクリックしてください。選択した Web ユーザーを削除する前に、削除を確認するメッセージが表示されます。

### 第3項 サブドメイン

コントロールパネルからサブドメインの作成と管理を行います。最大5個のサブドメインを作成できます。

#### ◇ サブドメインサービスの機能

① 通常のお客様ドメインの他に、サブドメインでのホームページ公開が可能です。

サブドメインの例:

www.domainxxx.co.jp (通常のホームページURL)

tokyo.domainxxx.co.jp (東京支店のホームページとして活用)

② Applitus Server VALUE 管理画面から、お客様のお好きなサブドメイン名を登録し、ftpのアカウントも個別に設定いただくことができます。

#### ◇ 本サービスご利用に関するご注意事項

① サブドメインは、ウェブサーバとしてのみご利用いただけます。

(サブドメインでのメールサービスはご利用いただけません)

② サブドメインで構築したウェブコンテンツのURLに、「www」(プレフィクス)は付加できません。

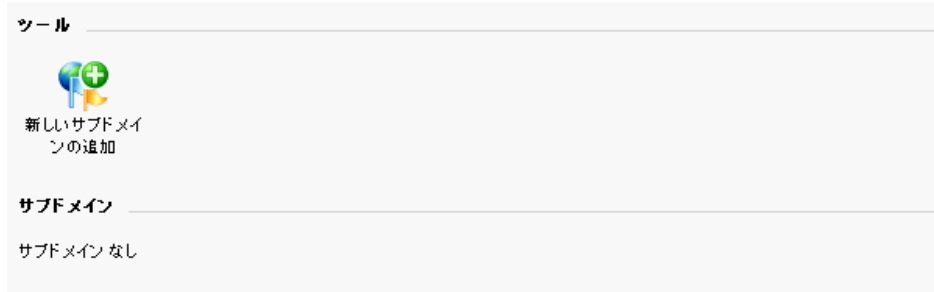
○ <http://tokyo.domanxxx.co.jp/>

× <http://www.tokyo.domainxxx.co.jp/>

① Applitus Server VALUE 管理画面からサブドメインを登録いただいただけではご利用いただくことができません。別途オプション申込書にて弊社あてにDNSサーバへの登録をお申し込みください。(登録は有料です。)

■ サブドメインの登録方法

サブドメインの管理機能を使用するために、管理者ホーム画面の「サブドメイン」アイコンをクリックしてください。サブドメイン管理ページが開き、既存のサブドメインとサブドメインに関連付けられた FTP アカウントのリストが表示されます。



■ 新しいサブドメインを追加します。

1) 「新しいサブドメインの追加」アイコンをクリックします。サブドメインの作成ページが表示されます。

2) サブドメイン欄にサブドメイン名を入力してください。

3) FTP ユーザーを選択します。

ここで、「このサブドメイン用に異なる FTP ユーザーアカウントを作成する」を選択した場合は、FTP ログインとパスワードを入力してください。

4) スクリプトに関連するその他のオプションを設定します。

5) OK をクリックします。

■ サブドメインのホスティングアカウントを編集するにはリストから編集するドメイン名を選択してください。

■ サブドメインを削除する場合は、削除するサブドメインのチェックボックスをチェックし「× 選択対象を削除」ア

アイコンをクリックしてください。

上記設定を行っただけでは、サービスをご利用いただくことができません。オプション申込書によって、サービスの利用申込み(DNSの登録設定依頼)が必要となります。(登録は有料です。) 別添: オプションサービス申込書に記入の上、弊社宛FAXにてお申し込みください。

申込書ダウンロード先

[http://www.desknets.com/applitus/service/applications/doc/order\\_sheet-option.pdf](http://www.desknets.com/applitus/service/applications/doc/order_sheet-option.pdf)

■ サブドメインサービス設定完了通知

サブドメインサービスをお申込いただきますと、サービス開通のお知らせとしまして、「サブドメインサービス設定完了通知書」が管理者様に届きます。(次ページ参照)

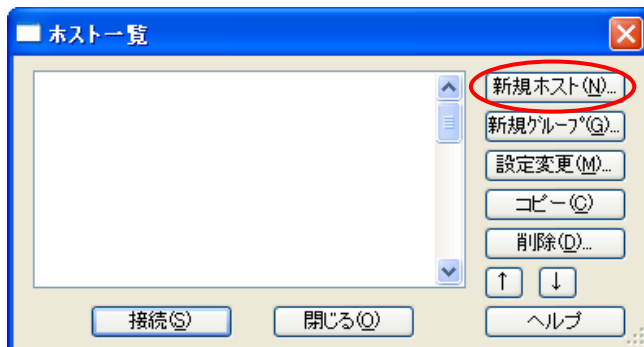
サブドメインサービス「設定完了通知書」例

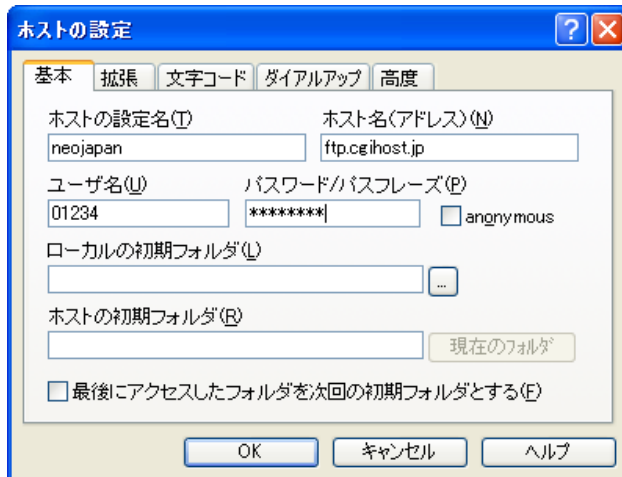
サブドメイン名「tokyo.neo.com」、「osaka.neo.com」をお申し込みの場合

お申込サービス	サブドメインサービス
管理者 ID	sfa***** / ssa***** / nja*****
サブドメイン名(1)	tokyo.neo.com
サブドメイン名(2)	osaka.neo.com
サブドメイン名(3)	
サブドメイン名(4)	
サブドメイン名(5)	

■ サブドメイン利用時のFTPソフトの設定(例)

- ① FTPソフト(下記はffftpの例)を立ち上げます。メニューバーの「ファイル」から「接続」をクリックすると下記画面が表示されます。
- ② 「新規ホスト」をクリックすると、ホストの設定画面が表示されますので、共用SSLサーバ開通通知書を参考に、下記の通り必要事項を入力します。

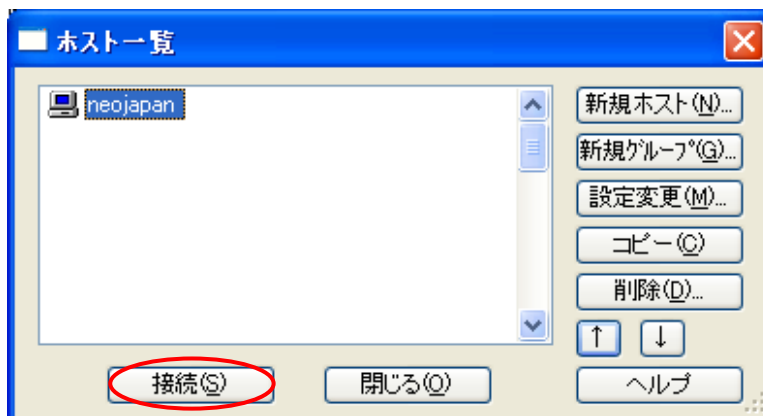




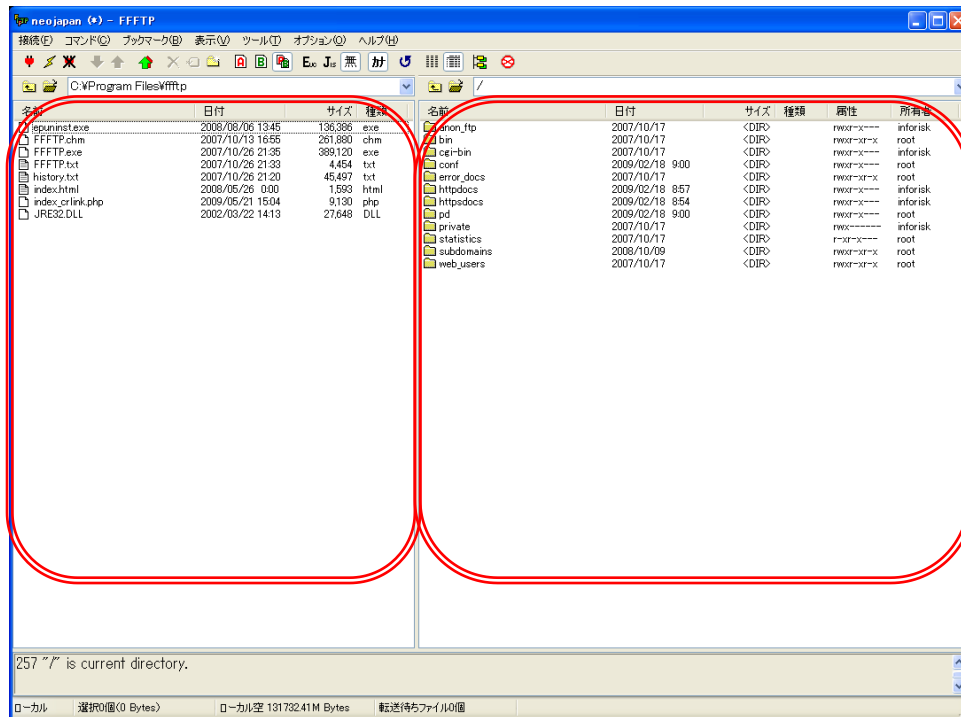
### 入力項目について

[ホストの設定名]	:	任意の名前を付けてください。
[ホスト名(アドレス)]	:	御社ドメイン名
[ユーザ名]	:	第3項で設定した FTP ユーザ名
[パスワード/パスフレーズ]	:	第3項で設定したパスワード
[ローカルの初期フォルダ]	:	未入力で結構です。
[ホストの初期フォルダ]	:	未入力で結構です。

③ 入力後、「OK」ボタンをクリックすると、下記画面が表示されます。



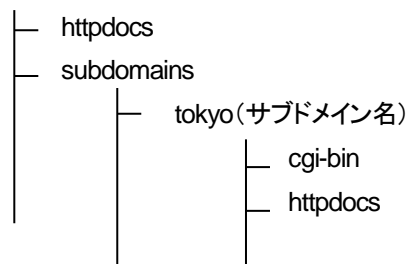
- ④ 「接続」をクリックするとサーバへの接続を開始し、接続が完了すると下記画面が表示されます。



左側がお客様のパソコン上のファイル、右側が FTP 側のファイル一覧を表示します。

送信したいファイルを左側の一覧から選び、上向き矢印のアップロードボタンを押して FTP サーバ 上のサブドメインにデータをアップロードします。

- 補足サブドメインサービスをご利用の場合のディレクトリ構造は下記の通りです。



メインのコンテンツを入れる「htdocs」ディレクトリと同列に「subdomains」ディレクトリがあり、この中に作成したサブドメイン名がついたディレクトリが作成されます。そのディレクトリ内にはさらに、「cgi-bin」及び「htdocs」ディレクトリが作成されます。

## 第4項 ディレクトリ

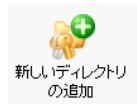
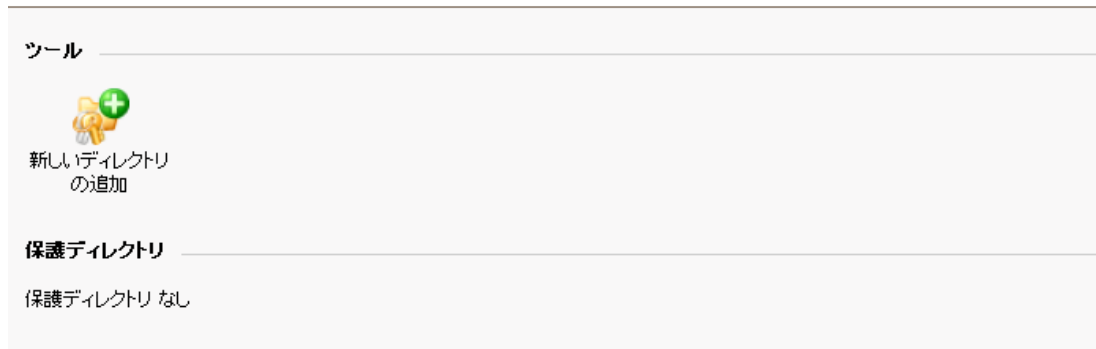
(保護ディレクトリの管理:システム管理者向け機能)

保護ディレクトリを作成すると、そのディレクトリへのアクセスはパスワードにより制限されます。https プロトコル(SSL)でのアクセス、通常の http プロトコルでのアクセス両方ともに設定が可能です。

保護ディレクトリの管理機能を設定するために、管理者ホーム画面の「保護ディレクトリ」アイコンをクリックしてください。

[neojapan.com](http://neojapan.com) >

ドメイン [neojapan.com](http://neojapan.com) の保護ディレクトリ



をクリックしてください。ドメイン内の保護ディレクトリのリストが表示されます。

それぞれのディレクトリ名はディレクトリがどのホスト(🔒(黄色)SSL か 🟡(青色)SSL でないか)に所属するか表すアイコンと共に表示されます。

※注意点:

FTP プログラムからではなくコントロールパネルより保護ディレクトリを作成されることを強く推奨いたします。

FTP プログラムから作成された場合は、コントロールパネルからは変更を認識できません。

### ■ 保護ディレクトリの作成

以下の手順に従って、保護ディレクトリを作成してください。

1) 「新しいディレクトリを追加」アイコンをクリックします。保護ディレクトリの作成ページが開きます。

2) ディレクトリ名欄に保護ディレクトリの名前を入力します。

3) 作成するディレクトリの位置(SSL ディレクトリ内か非 SSL ディレクトリ内か、それとも両方か)をチェックします。

- 4) ヘッダーテキスト欄にこのディレクトリのヘッダーテキストを入力します。ユーザーがこの保護ディレクトリにアクセスを試みた際に、このヘッダーテキストが表示されます。
- 5) OK をクリックして作成を完了すると、保護ディレクトリユーザーのリストが表示されます。

#### ■ 保護ディレクトリユーザーの作成

- 1) 作成後、新しいユーザーを追加するために「新しいユーザーの追加」アイコンをクリックします。新しい保護ディレクトリユーザーの作成ページが表示されます。

- 2) 新しいユーザーと新しいパスワード、パスワードの確認を入力します。
- 3) OK をクリックすると、保護ディレクトリの管理ページに戻ります。ユーザーリストには新たに追加されたユーザーが表示されます。
- 4) 既存の保護ディレクトリユーザーを削除するには、削除したいユーザーのチェックボックスにチェックし、「選択対象を削除」アイコンをクリックします。
- 5) 保護ディレクトリユーザーのパスワード編集を行うためには、リスト内のユーザー名をクリックしてください。
- 6) 新規の保護ディレクトリで作業が完了した場合は、OK をクリックして全ての変更をシステムへ反映させ、保護ディレクトリページへ戻ります。

#### ※注意点:

SSL の保護ディレクトリはドメインの SSL サポートが無効でも作成することができますが、SSL サポートが有効になるまで、このディレクトリにはアクセスすることができません。

#### ■ 保護ディレクトリの編集

保護ディレクトリの編集は以下のステップに従って行います。

- 1) 保護ディレクトリのページより、編集するディレクトリ名をクリックします。保護ディレクトリ管理ページが開きます。
- 2) 保護ディレクトリの作成時と同じ要領で保護ディレクトリの設定を編集します。
- 3) OK ボタンをクリックして変更をシステムに反映し、保護ディレクトリのページに戻ります。

#### ■ 保護ディレクトリの削除

保護ディレクトリを削除するために、以下のステップに従って作業を行います。

- 1) 削除するディレクトリのチェックボックスをチェックします。
- 2) 「選択対象を削除」アイコンをクリックします。保護ディレクトリの削除ページが表示されます。
- 3) 削除の確認をチェックして、OK をクリックします。

#### ※注意点:

コントロールパネルから保護ディレクトリの削除を行った場合、ディレクトリ自体のサーバからの削除は行われません。ただ保護が外れるだけですので、パスワード認証なしにインターネットから閲覧が可能になります。



## 第5項 ログマネージャ

(システム管理者向け機能)

コントロールパネルからログファイルの管理とログローテーションの設定が可能です。

### ■ ログ管理機能へのアクセス

これらの機能にアクセスするには、管理者ホーム画面から「ログマネージャ」をクリックしてください。  
ログマネージャのページが開きます。

The screenshot shows the 'Log Manager' interface. At the top, there are icons for 'Log Rotation' and 'Switch Off'. Below that, there's a 'Preferences' section with a text input for 'Number of log files to display' and a search bar. The main area is titled 'Log Files' and contains a table of log files. The table has columns for '修正日' (Modified Date), '名前' (Name), and 'サイズ' (Size). The log files listed are:

修正日	名前	サイズ
6月 10, 2009 04:02 AM	access_log	0 B
6月 10, 2009 04:02 AM	access_log.processed	0 B
6月 10, 2009 04:02 AM	access_ssl_log	0 B
6月 10, 2009 04:02 AM	access_ssl_log.processed	0 B
6月 9, 2009 02:52 PM	error_log	4.00 KB

Below the table, it says 'ログファイルの総サイズ: 4.00 KB'. There are also buttons for '選択対象を削除' (Delete selected items) and '検索を随時' (Search as you type).

- ・「表示されるログファイルの行数」フィールドに、1 ページに表示される行数を入力することができます。
- ・ログファイルを閲覧するには、リスト内のファイル名をクリックしてください。Log Files Viewer ウィンドウが別に開き、ログファイルのコンテンツが表示されます。
- ・ログファイルをローカルマシンに保存することもできます。リスト内で対象となるログの アイコンをクリックしてください。次に、ログファイルをダウンロードして保存する先のローカルマシン内の場所を指定し、「保存」をクリックしてください。
- ・複数のログファイルをリストから削除するには、対応するチェックボックスをオンにし「選択対象を削除」をクリックしてください。

### ■ ログローテーション選択設定は、以下の手順で行ってください。

- 1) ログファイル管理ページで「ログローテーション」アイコンをクリックしてください。  
ログローテーション選択設定ページが開きます。

The screenshot shows the 'Log Rotation Selection Settings' page. It has a 'Switch Off' icon at the top. Below that, there's a 'Preferences' section with the following settings:

- ログローテーション状態 \* (Log Rotation Status \*):  サイズで (By Size) 2025139 KB
- 時間で (By Time) 日次 (Daily)
- 最大ログファイル数 (Maximum number of log files): 1
- ログファイルを圧縮する (Compress log files):
- 処理済ログファイルをメール送信する (Email processed log files):

At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons, and a note: '\* 必須フィールド' (Required field).

- 2) スイッチアイコンをクリックして、ログローテーションを有効化／無効化してください。  
※スイッチオフ表示で「有効」、スイッチオン表示で「無効」
- 3) ログローテーション状態を選択します。
  - ・ ログファイルサイズ：適切なフィールドにキロバイト単位でサイズを入力してください。
  - ・ 時間：ドロップダウンリストから選択してください。「日次」、「週次」、「月次」のいずれかに設定できます。
- 4) 適切な入力フィールド内にログファイルの最大数を指定してください。最大数とは、各ログファイルに保存可能な処理済ファイルの数です。
- 5) 「ログファイルを圧縮する」チェックボックスをオンにして圧縮を有効にします。
- 6) 必要であれば、「メール送信先」入力フィールドにメールアドレスを入力し、ログファイルの送信先を指定します。
- 7) OK をクリックして変更を保存します。

## 第6項 ファイルマネージャ

ファイルマネージャを使用してドメイン内のファイルやディレクトリを管理することができます。ファイルマネージャは、コンテンツファイルのアップロード機能をはじめ、パーミッション設定の変更や新規ファイル(フォルダ)の作成も可能となっています。

### ■ ファイルマネージャ機能へのアクセス

ファイルマネージャ機能にアクセスするために、管理者ホーム画面内の「ファイルマネージャ」アイコンをクリックしてください。ファイルマネージャページが開き、ディレクトリとコンテンツが表示されます。

The screenshot shows a file manager interface for 'neojapan.com'. It lists various files and directories with columns for name, size, permissions, and user. The 'htdocs' directory is highlighted with a red circle. A red arrow points from this circle to a text box containing the following instruction:

**※HP のコンテンツは「htdocs」へアップロードして下さい。(SSL の場合は httpsdocs)**



ドメイン > neojapan.com >  
ファイルマネージャ ショートカットを作成する ↑

---

ファイル neojapan.com / httpdocs / index.html の編集

以下のエンコードにてオリジナルファイルを表示する: UTF-8 再読み込み (注意: 再読み込み時、保存されていない変更は失われます)

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.0 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">
<html>
  <head>
    <title></title>
    <link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/winxp.blue.css">
    <script language="javascript" type="text/javascript">
      document.write(<script language="javascript" type="text/javascript" src="http:// +
        location.hostname + ':8880/javascript/newsfeeds.js.php"></
+ <script>n);
      document.write(<script language="javascript" type="text/javascript" src="http:// +
        location.hostname + ':8880/javascript/promo-flags.js.php"></
+ <script>n);
    </script>
  </head>
  <body>
    <div class="screenLayout">
    <div class="headerContainer">
      <div class="pageHeader">
        <div>
          <a target="_blank" href="http://www.swsoft.com/plesk/" title="Plesk&trade;" class="topLogo"></a>
          <div id="topTextBlock">

```

設定の保存中

以下のエンコードにて保存する: UTF-8

改行タイプ: Unix スタイルへの変換

名前をつけて保存

リセット 保存 OK キャンセル

## ■ ファイル名の編集

ファイル編集の際の一時退避や、リンク訂正のため、ファイル名を変更したい場合には、テキストボックスのアイコンをクリックすることで、ファイル名を変更できます。

<input type="checkbox"/>	plesk-stat	4.00 KB		<a href="#">rwx-r-xr-x</a>	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>	test	4.00 KB		<a href="#">rwx-r-xr-x</a>	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>	favicon.ico	4.00 KB		<a href="#">rwx-r-xr-x</a>	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>	index.html	8.00 KB		<a href="#">rwx-r-xr-x</a>	6月 9, 2009	neojapan	psacn

全 8 neojapan.com / httpdocs アイテム ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

アイコンをクリックすると以下の編集画面が表示されます。

テキストエリア内のもとのファイル名を編集し、「OK」ボタンを押すと編集内容が適用されます。

ファイル neojapan.com / httpdocs / index.html の名称変更

ファイル名 \* index.html

\* 必須フィールド OK キャンセル

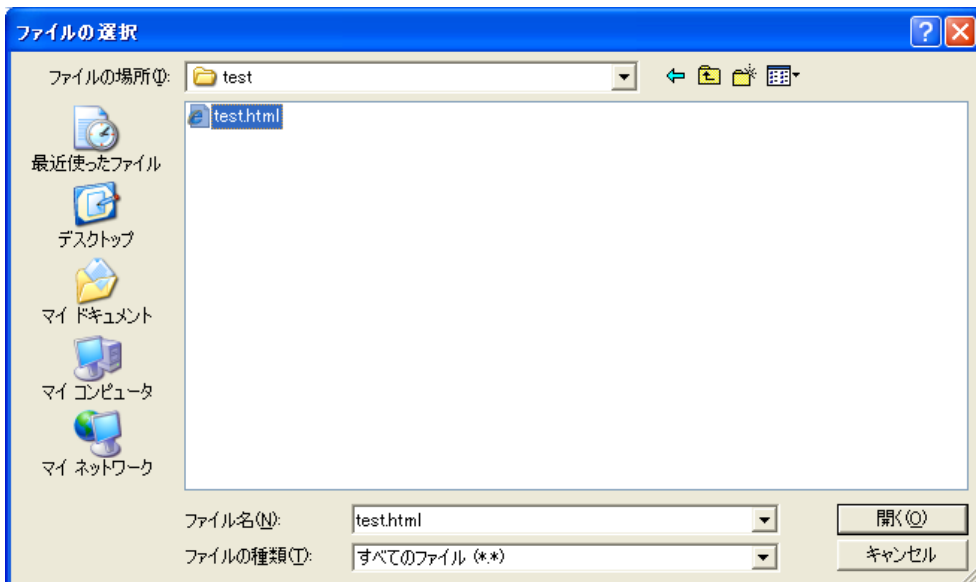
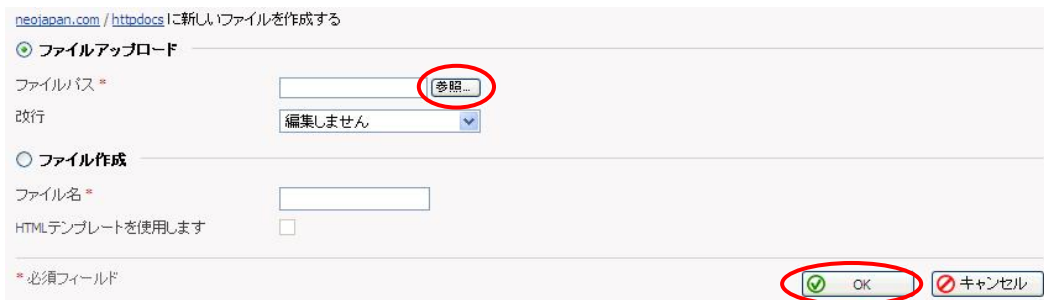
## ■ ファイルのアップロード

お客様のPCにあるファイルを、サーバ側にアップロードするには、画面の上部にある「ファイル作成」のリンクをクリックします。



ファイルアップロードの画面が表示されます。

さらに「参照」ボタンをクリックすることで、PC 中のファイルの場所を検索可能です。



最後に「OK」ボタンを押下すると、アップロードが完了します。

※アップロード可能なファイルは一度の操作で1つのみとなります。

※上書きアップロードはできません。別名ファイルでアップロード後、ファイル名を編集するといった操作が必要です。



### ■ ファイルのパーミッション変更

スクリプトファイル等の実行権限(パーミッション)を変更したい場合、対象のファイルの右側にあるパーミッションリンクをクリックすることで、パーミッション変更が可能です。

<input type="checkbox"/>	plesk-stat	4,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>	test	4,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>	favicon.ico	4,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>	index.html	8,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn

全 8 neojapan.com / httpdocs アイテム ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

それぞれのファイル所有者に可能としたい処理(読み込み、書き込み、実行)の欄にチェックを入れ、「OK」ボタンを押下すると、ファイルの実行権限を変更することができます。

ファイル neojapan.com / httpdocs / index.html のパーミッションを変更する

	読み込みモード	書き込みモード	実行/サーチモード
オーナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
グループ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
他	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

### ■ 新規ファイルの作成

サーバー内に新規ファイルを作成するには、アップロードの際と同様、「ファイル作成」リンクをクリックしてアップロード画面を表示させます。

ファイル

選択対象を削除  タイムスタンプ  コピー/移動  ディレクトリ作成  **ファイル作成**  サイズ

全 8 neojapan.com / httpdocs アイテム ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	T	名前 ▲	サイズ	ツール	パーミッション	日時変更	ユーザ	グループ
<input type="checkbox"/>		..	4,00 KB			6月 9, 2009	root	root
<input type="checkbox"/>		css	4,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>		img	4,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>		picture_library	4,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>		plesk-stat	4,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>		test	4,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>		favicon.ico	4,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn
<input type="checkbox"/>		index.html	8,00 KB		rwx r-x r-x	6月 9, 2009	neojapan	psacn

アップロード画面が表示された後、ファイル作成のラジオボタンをクリックします。

ファイル名のテキストエリアが有効になるので、ファイル名を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

neojapan.com / httpdocs に新しいファイルを作成する

ファイルアップロード

ファイルパス \*

改行

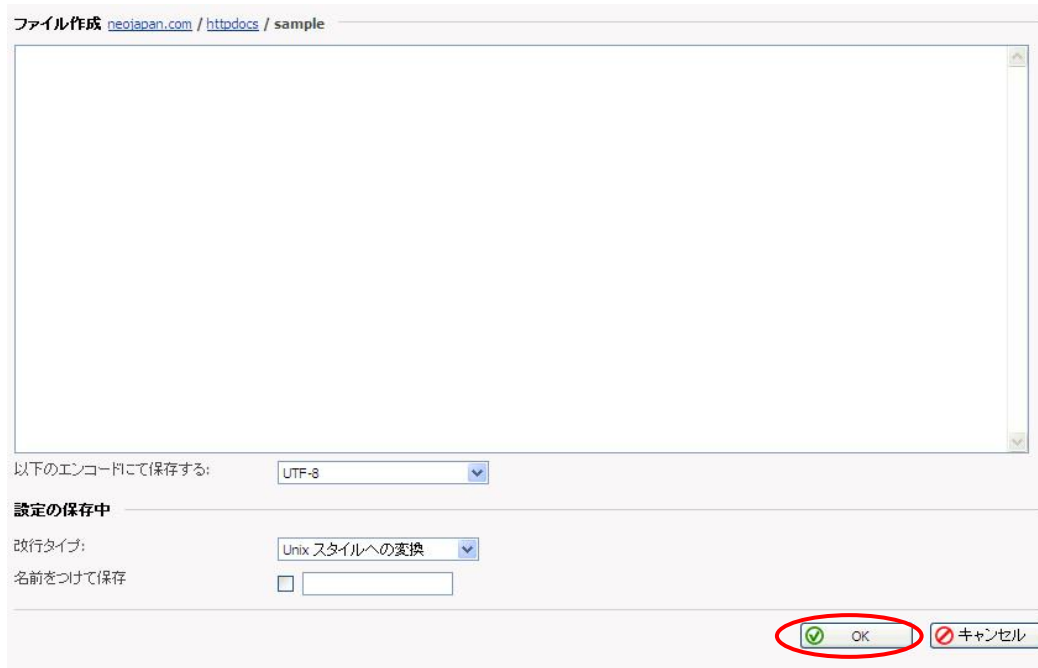
**ファイル作成**

ファイル名 \*

HTMLテンプレートを使用します

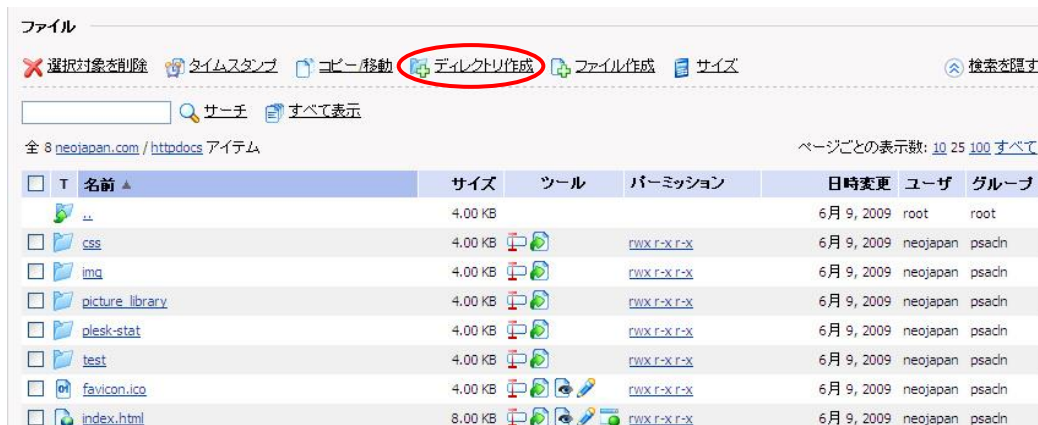
\* 必須フィールド

次に以下のエディット画面が表示されるので、編集後に「OK」ボタンをクリックして完了です。



## ■ 新規ディレクトリ(フォルダ)の作成

サーバー内に新規ディレクトリ(フォルダ)を作成するには、「ディレクトリ作成」のリンクをクリックし、ディレクトリ作成画面を表示させます。



ディレクトリ名のテキストエリアに作成したいフォルダ名を入力し、「OK」ボタンを押下して完了です。

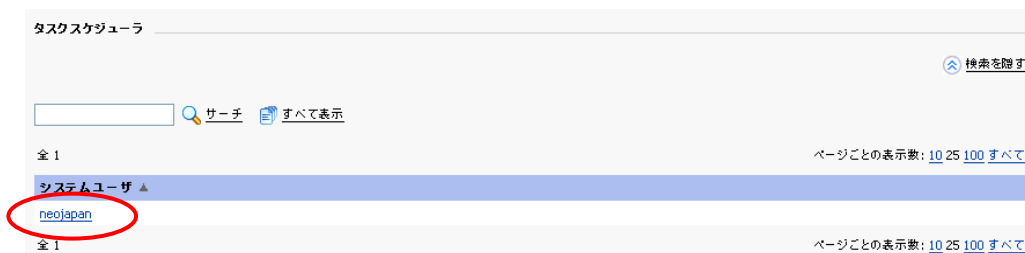



## 第7項 クローンタブマネージャ (システム管理者向け機能)

システムユーザーのスケジュールタスクを閲覧したり、クローンタブメッセージの送信先メールアドレスの設定や、タスクの追加や削除を行います。

- Crontab 管理機能にアクセスするためには、管理者ホーム画面より「Crontab」アイコンをクリックします。

- 1) 新しいタスクをリストに追加するには、以下の作業が必要です。  
タスクスケジューラーページより、該当のシステムユーザをクリックします。



- 2) ツール画面より  アイコンをクリックします。

- 3) スイッチオンのチェック有無でスケジュールされたタスクのステータスを選択します。
- 4) タスクの実行される日時を設定します。  
分-0 から 59 もしくは\*を入れます  
時-0 から 23 もしくは\*を入れます  
日-1 から 31 もしくは\*を入れます  
月-1 から 12 もしくは\*を入れます  
曜日-0 から 6(6 が日曜日) もしくは「\*」を入れます
- 5) コマンド欄には実行されるコマンドを入力します。
- 6) OK ボタンをクリックします。



タスクリストをソートには、ソートパラメータ名をクリックしてください。列はソートの順序を表します。ソートの基準は以下の通りです。

- ・ (S)tatus
- ・ (M)inute
- ・ (H)our
- ・ (DM)Day of the Month
- ・ (M)onth
- ・ (DW)Day of the Week
- ・ コマンド

#### ■ スケジュールされたタスクの削除

スケジュールされたタスクをリストから削除するには、削除するタスクのチェックボックスをチェックして、「選択対象を削除」をクリックしてください。

- #### ■ クローンタブが特定のメールアドレスにメッセージを送るようになるには、ツール画面より アイコンをクリックします。

プリファレンス

Crontab メッセージをアドレスに送信する \*

\* 必須フィールド OK キャンセル

クローンタブが特定のメールアドレスにメッセージを送るようになるには、「にクローンタブメッセージを送信する」にメールアドレスを設定してください。

#### 第8項 Web アプリケーション

本サービスではご利用になれません。

#### 第9項 サイトプレビュー



「サイトプレビュー」アイコンをクリックして、アップした Web コンテンツのプレビュー表示を行うことができます。

第8章 各種ソフトウェアの設定例

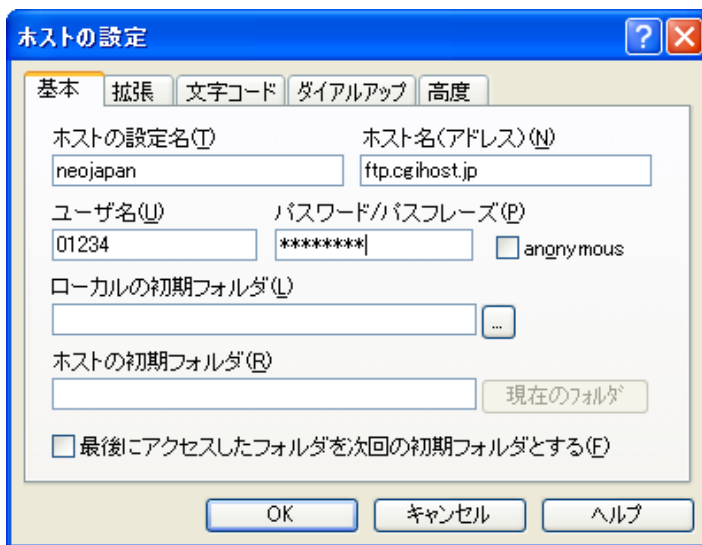
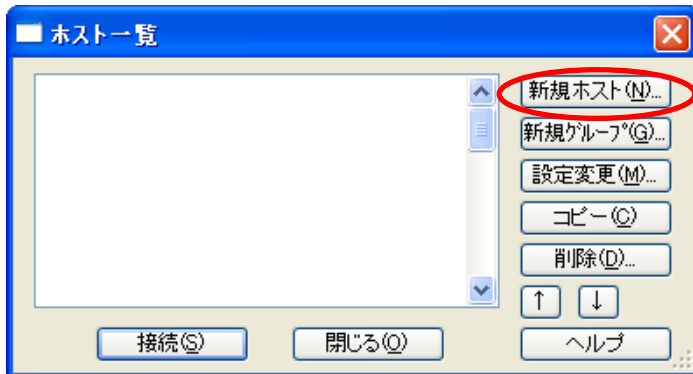
第1節 FTP ソフトの設定例 (Windows 編)

(例) FFFTP を使用した場合

FFFTP のダウンロード先URL:<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html> (変更になっている場合があります。)

【手順】

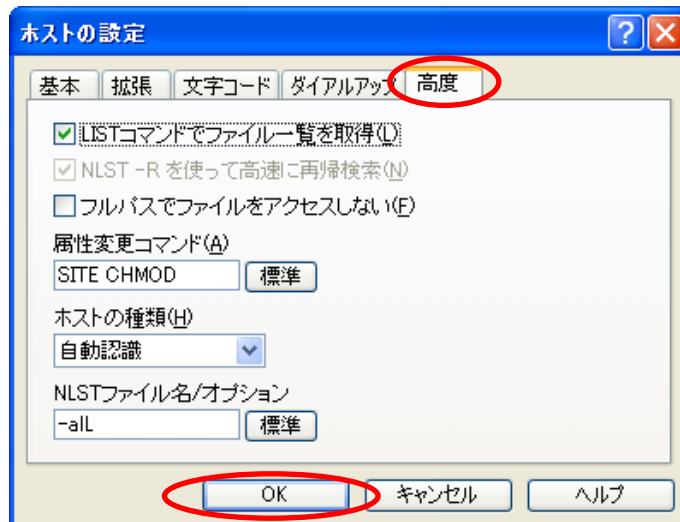
- ① 「新規ホスト」をクリックしてください。  
「ホストの設定」画面が表示されます。



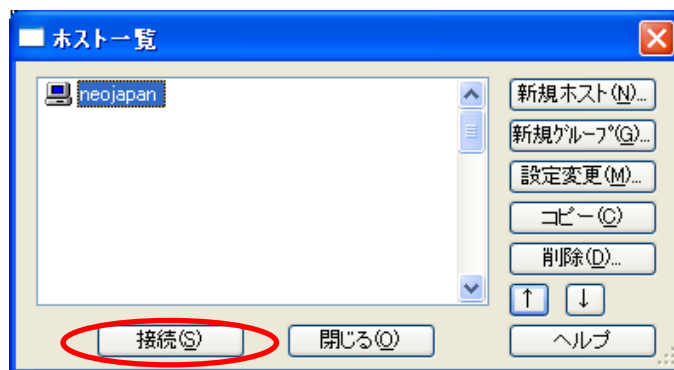
- ② 基本タブへ以下の項目を入力してください。

入力項目	
(本書 P7 第4章をご参照ください)	
ホストの設定名	: 任意に命名下さい。
ホスト名(アドレス)	: FTP ホスト名(アドレス)(I 欄)
※移設の方	: FTP 先サーバ IP アドレス(J 欄)
ユーザ名	: FTP ID(ユーザ名)(D 欄)
パスワード/パスフレーズ	: FTP パスワード(D 欄)
ローカルの初期フォルダ	: 無記入
ホストの初期フォルダ	: 無記入

③ 「高度」タブをクリックし、下記の通りチェックボックスにチェックを入れます。



④ 入力後「OK」ボタンをクリックして、「ホスト」名を選択し、接続ください。



【Web コンテンツの転送先について】

ログイン後に表示される「**httpdocs (SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)**」というサブディレクトリの中にお客様の Web コンテンツを転送します。

サーバへログインすると、以下のようなフォルダが表示されます。

```
anon_ftp
bin
cgi-bin
conf
error_docs
httpdocs
httpsdocs
pd
private
statistics
subdomains
web_users
```

この **httpdocs (SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)**の中に、Web コンテンツである HTML ファイル、画像ファイル等を設置します。**CGI スクリプトは cgi-bin フォルダに設置します**。httpdocs(SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)フォルダの外に設置された場合はファイルが表示されませんのでご注意ください。  
尚、CGI(SSI)スクリプトの転送の注意点については、後述「CGI ご利用の際の注意点」をご覧ください。

**ご注意！！**

お客様ご使用の FTP ソフトの使い方に関しましては、ソフトのマニュアルをご参照ください。また、ご不明な点がございましたらコミュニケーションセンター（0120-365-800 平日 9 時 00 分～12 時、13 時～18 時）までお問い合わせください。

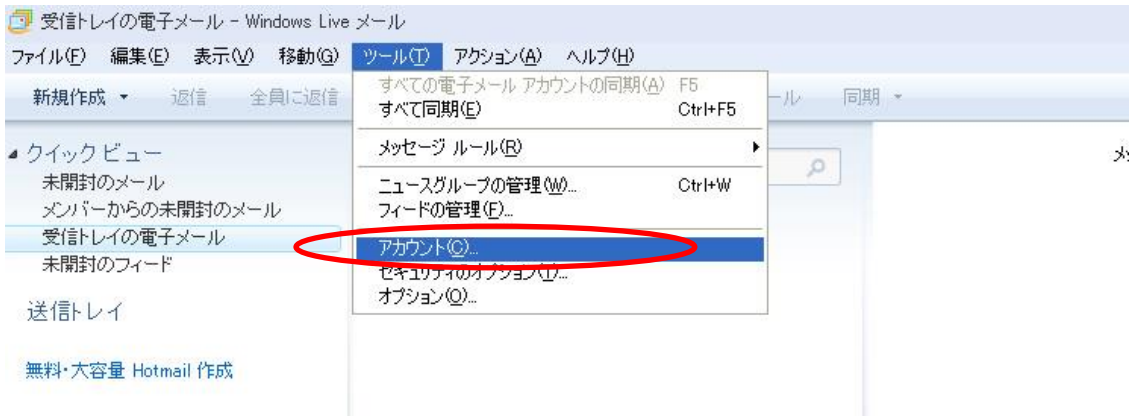
**ご注意！！**

弊社のサービスにつきましては、セキュリティの関係からお客様ドメインに対してアクセスいただいた場合、該当するファイルが無い場合はディレクトリ内にありますファイルを見えない形式にしています。直接 “http://www.お客様ドメイン名” のみでトップページを表示したい場合は、トップページのファイル名を index.html としてください。

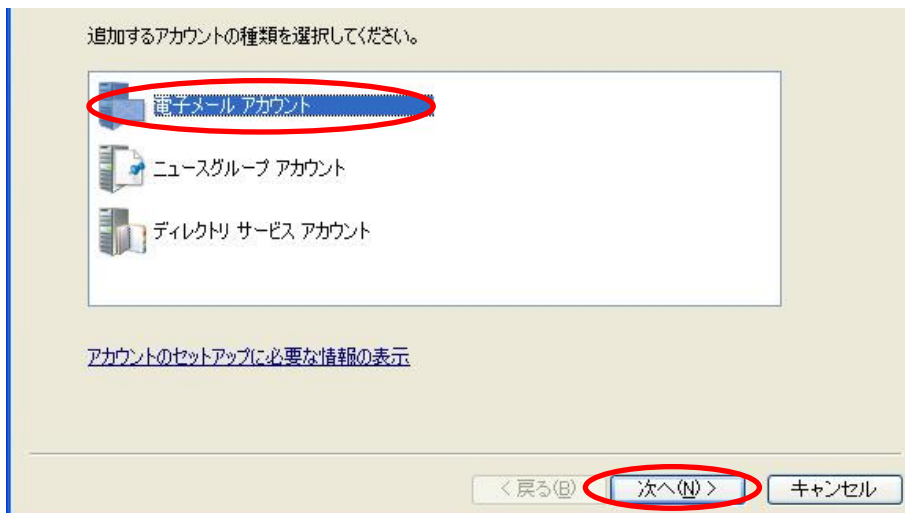
## 第2節 メールソフトの設定例

### (例1) Windows Live メールを利用した場合

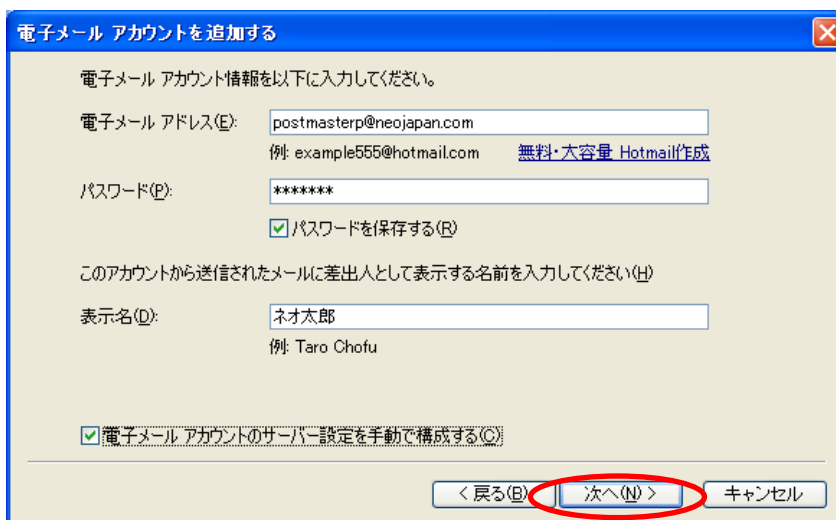
- ① Windows Live メールを起動し、メニューバーの「ツール」から「アカウント」を選択してください。



- ② 「追加」ボタンをクリックし、サブメニューから「電子メールアカウント」を選択して「次へ」をクリックしてください。



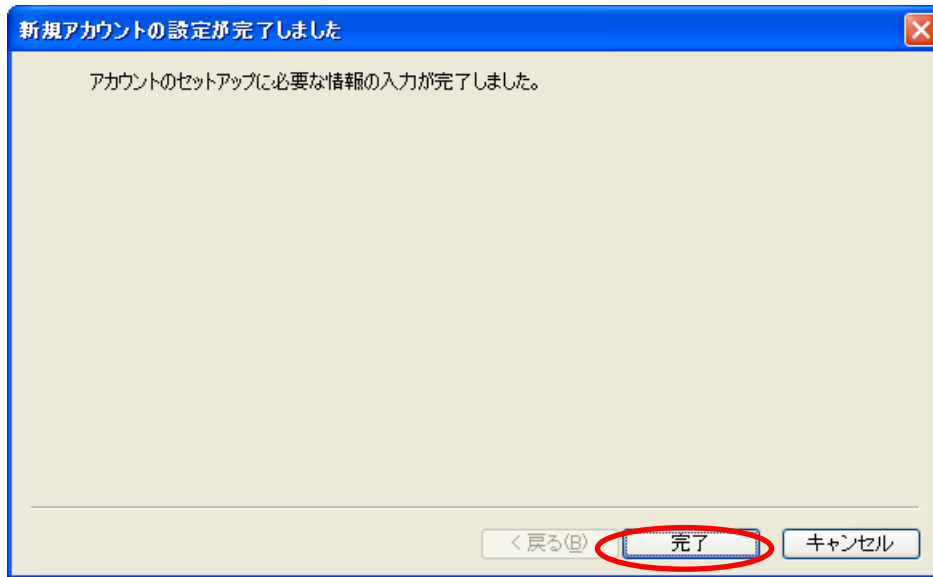
- ③ 電子メール アカウント情報登録画面になります。  
④ 以下情報をご入力して「次へ」をクリックしてください。



- ・ 電子メールアドレス:  
電子メールアドレスもしくはメールアドレスのエイリアス名(アドレス)を入力して下さい。
  - ・ パスワード:  
メールのパスワードを入力してください。  
※「メール」機能にてアカウント設定時に登録したパスワードを入力します
  - ・ 表示名:  
任意のお名前(お客様のお名前等)を入力してください。
  - ・ 電子メールアカウントのサーバ構成を手動で構成する:  
チェックを入れてください。
- ⑤ 「電子メールサーバーの情報について」画面が表示されます。  
以下情報をご入力して「次へ」をクリックしてください。

- ・ 受信メールサーバーの種類:  
「POP3」を選択してください。
- ・ 受信メールサーバー:  
「mail.お客様ドメイン名」を入力してください。
- ・ ポート番号:  
「110」を選択してください。
- ・ 送信サーバー:  
「mail.お客様ドメイン名」を入力してください。
- ・ ポート:  
「587」を入力してください。
- ・ 送信サーバーは認証が必要:  
チェックを入れてください。

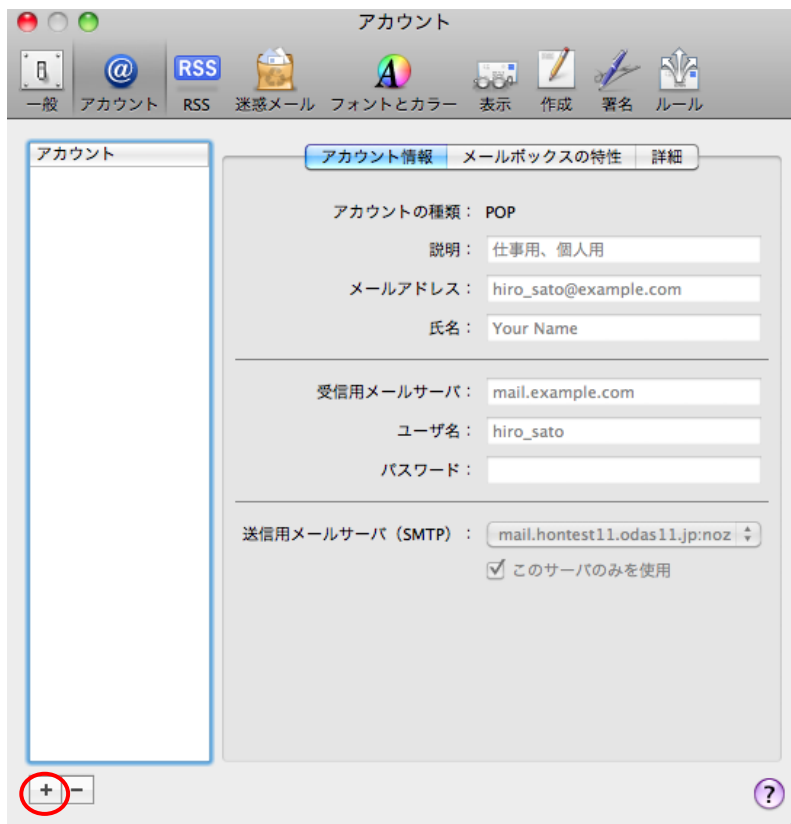
- ⑥ 「設定完了」画面が表示されます。



- ⑦ 「完了」ボタンをクリックしてください。  
以上で設定は完了です。

(例 2)Mac Mail を使用した場合

- ① 「ツール」から「アカウント設定」を開きます。  
「+」ボタンをクリック。



- ② 次の画面に「氏名」「メールアドレス」「パスワード」を入力して「続ける」をクリックします。





- ③ 次の画面の「受信メールサーバ」を入力後、「ユーザー名(@マークより前)」「パスワード」を入力されていることを確認して「続ける」をクリックします。

- ④ [証明書を検証]画面が表示された場合は、そのまま「接続」をクリックします。

- ⑤ 次の画面の「送信メールサーバ」を入力して、「認証を使用」のチェックを入れ、「ユーザー名(@マークより前)」「パスワード」が入力されていることを確認して「続ける」をクリックします。

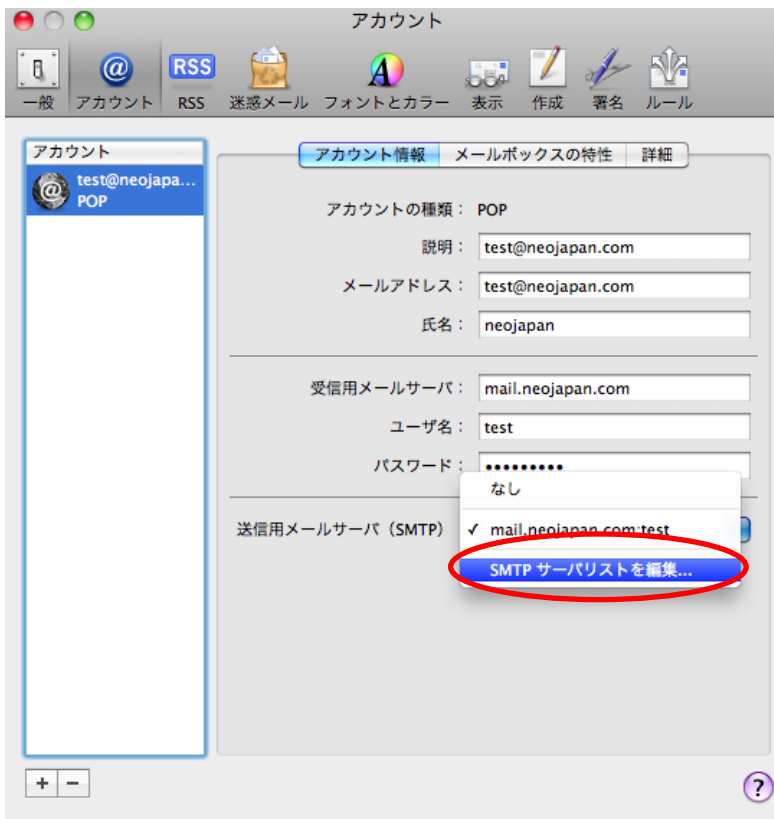
- ⑥ [証明書を検証]画面が表示された場合は、そのまま「接続」をクリックします。



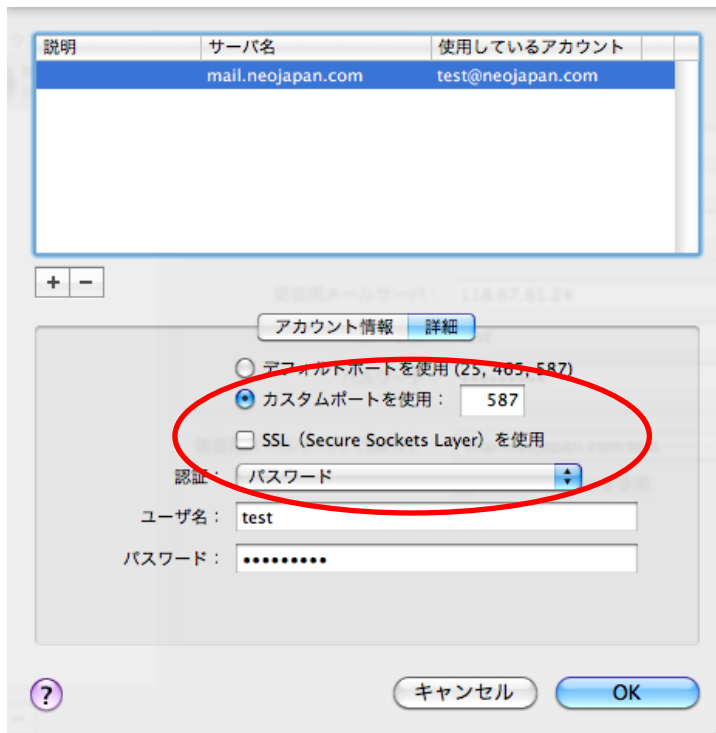
- ⑦ 次の画面で[アカウントをオンラインにする]のチェックが入っていることを確認して「作成」をクリックします。



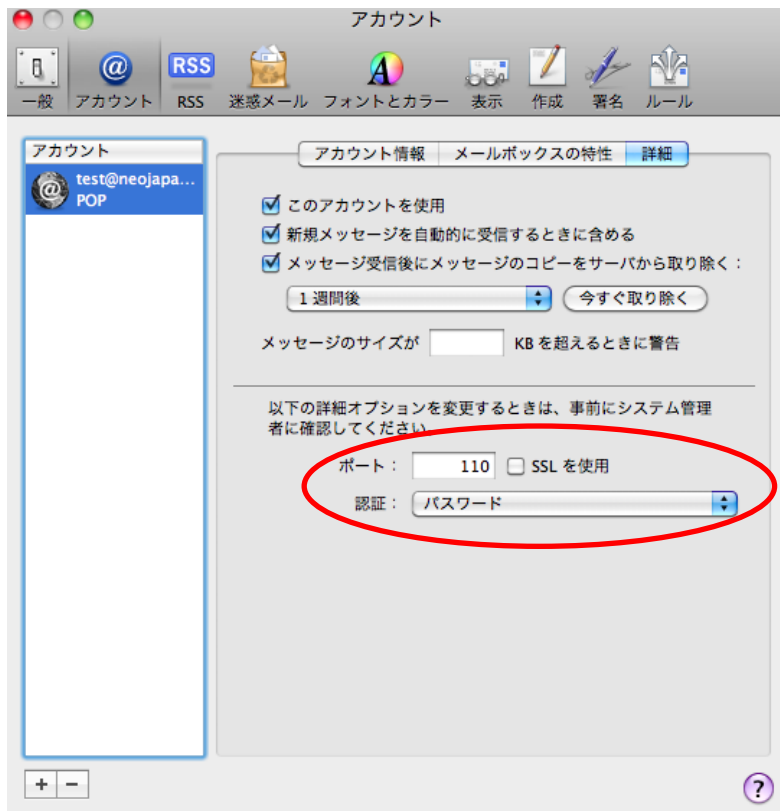
- ⑧ [送信用メールサーバ(SMTP)]のプルダウンメニューより「SMTP サーバリストを編集」をクリックします。



- ⑨ 次の画面の[詳細]タブを開き、[カスタムポートを使用]に「587」を入力して、[SSL を使用]のチェックが外れていることを確認後、[認証]は「パスワード」を選択して「OK」をクリックします。



- ⑩ [アカウント]の画面へ戻り、[詳細]ボタンをクリックします。[ポート]に「110」を入力して、[SSL を使用]のチェックを外します。[認証]は「パスワード」を選択してください。  
以上でアカウント設定は完了となります。



## 第9章 各種ソフトウェアの設定例に関する追加項目

弊社「登録完了通知書」と照らし合わせてご確認ください。\* P7をご参照ください。

設定時に必要な項目	登録完了通知書の該当先	
(FTP)ホスト	サービス開設通知書の FTP ホスト名	I 欄
(FTP)ユーザー名	サービス開設通知書の FTPID(ユーザー名)	D 欄
(FTP)パスワード	サービス開設通知書の FTP パスワード	D 欄
POP ユーザー名	管理者がホーム画面を使って設定(登録)されたユーザーアカウントの ID	
メールアドレス	管理者がホーム画面を使って設定(登録)されたユーザーアカウントのメールアドレス	
パスワード	管理者がホーム画面を使って設定(登録)されたユーザーアカウントのパスワード *管理者メールアドレスをメールソフトに設定される場合は、登録完了通知書の「管理者パスワード(ログインパスワード)」をご登録下さい。	
POP サーバ名	サービス開設通知書の POP サーバ名	K 欄
SMTP サーバ名	サービス開設通知書 SMTP サーバ名	L 欄

### ご注意！！

弊社のサービスでは、SPAM（スパム）メール等による送信メールサーバの不正利用を防止するため、送信メールサーバご利用の際には必ず事前（10分以内）に受信メールサーバによる認証を必要とさせていただきます。具体的にはメール送信の前に、メールの受信動作を行っていただければ弊社のサービスをご利用頂く正規ユーザーであることを確認でき、メール送信が行えるようになります。こちらにつきましてはセキュリティ上必ず必要な対応なのですが、このような認証作業を毎回行うのが面倒であるという場合には、以下の2つの方法をご利用ください。（詳細は弊社コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。）

1. インターネット接続プロバイダーのSMTPサーバを利用する。

インターネット接続を提供されているプロバイダーの方のSMTPサーバをお使いいただければ、POP認証は不要になります。

2. メールソフトを変更する。

ご利用のメールソフトを、メール送信の前に自動的にPOP認証を行う為のメール受信作業を行うことができるものに変更する。



\* 認証の有効時間を設定することができます。(例 OutlookExpress)

「ツール」→「オプション」→「全般」メニューの中の「新着メッセージをチェックする」にチェックを入れ、時間を設定します。

ここで設定した時間内であれば、認証を都度行う必要はありません。

---

#### \* POP before SMTPについて

**POP before SMTP**とは、メールを送信する前に一度受信をすることにより、受信(POP)サーバにて認証を行う仕組みのことをいいます。(POP 認証ともいいます。)

この認証により、送信側の特定を行うことが出来、Applitus Server VALUE のネットワーク以外からのメール配信の他、発信元を偽ってのSPAM(スパム)メールの発信を防ぐことができます。急増しているSPAM(スパム)メールなどの被害を防ぐため、同様にお客様のメールアカウント不正利用の防止を目的とした一手段となります。

お客様の作業としましては、メールソフトのサーバ認証機能を設定いただくのみとなります。

例)Windows Live メールの場合は P.61 メールソフトの設定例項番⑤の設定を実行ください。

#### \* SMTP認証について

**SMTP認証**とは、メールを送信する際に、送信(SMTP)サーバと事前に認証を行う仕組みのことをいいます。

Applitus Server VALUE では、SMTP 認証の LOGIN、CRAM-MD5、PLAIN の3つの方法をサポートしています。

この認証により、送信側の特定を行うことが出来、Applitus Server VALUE のネットワーク以外からのメール配信の他、発信元を偽ってのSPAM(スパム)メールの発信を防ぐことができます。急増しているSPAM(スパム)メールなどの被害を防ぐため、同様にお客様メールアカウントの不正利用の防止を目的とした一手段となります。

お客様の作業としましては、メールソフトのサーバ認証機能を設定いただくのみとなります。

例)Windows Live メールの場合(LOGINを使用)は P.61 メールソフトの設定例項番⑤の設定を実行ください。

## 第10章 SPAM（スパム）対策に関する注意事項

弊社「Applitus Server VALUE」はSPAM（スパム）メールによる被害をくい止めるため、SPAM（スパム）フィルターを採用しております。SPAM（スパム）フィルター機能はお客様側では特に意識することなく、お使いいただくことができますが、下記の通りご注意ください点がいくつかございます。

(1) お客様ご自身がSPAM（スパム）の発信元としてブラックリストに載らない様に、メールの利用には十分ご注意ください。

・詳細は、「第1節. ブラックリストとは?」をご参照ください。

(2) 万が一ブラックリストに載ってしまった場合、メールの受信はできても送信ができないという現象が現れます。

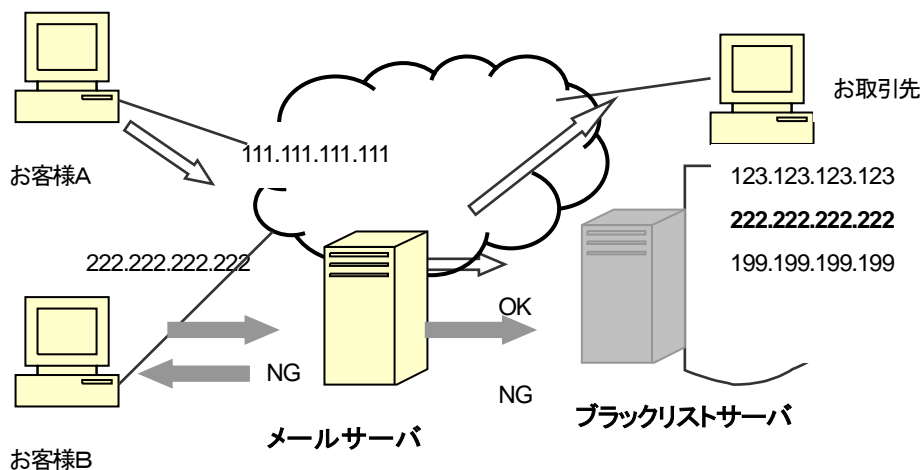
・「第3節. ブラックリストに載ってしまったら?」をご参照いただき、必要な対策を実施ください。

### \* SPAM（スパム）メールとは

SPAM（スパム）メールとは、電子メールを利用して大量かつ無差別に送られる勧誘・広告メールなどの迷惑メールのことをいいます。また、チェーンメールやウイルス情報メールなどの攻撃メールもSPAM（スパム）メールに含まれます。

これらSPAM（スパム）メールは一度に大量のメールを配信しますので、メールサーバに極端に負荷がかかり、インターネットに繋がりにくくなってしまいます。殆どのホスティング会社では、このような悪質なSPAM（スパム）メール被害を防ぐ為、POP before SMTPの認証方式を採用しております。また、SPAM フィルタを登録し、SPAM（スパム）メールの攻撃をできる限り防ぐシステムとなっております。

### 第1節 SPAM（スパム）フィルターとは?



- ① メールサーバは、メール送信の要求を受けた際に、IPアドレスをブラックリストサーバに照会します。
- ② ブラックリストに載っていない場合、問題なく送信できます。（お客様Aからお取引先へのメール）
- ③ ブラックリストに載っていた場合、送信エラーとなり、メールを送信することができません。（お客様B）

## 第2節 ブラックリストとは？

SPAM(スパム)ブラックリストは常にアップデートされ、下記のような場合、SPAM(スパム)発信元として発信元の IP アドレスをブラックリストに追加します。尚、お客様ご自身では該当する覚えがなくとも、同じ IP アドレスを過去に使用していたユーザーが、引き起こしていた可能性があります。

- (1) 不特定多数のアドレスにメールを送信し、多くのメールが宛先不明エラーで帰ってくる。
- (2) ウィルスにかかり、知らない間に(1)の現象が起きている。

ブラックリストに掲載されてしまうと、メールの受信はできるが送信はできないという現象が現れます。

下記のような場合、SPAM(スパム)ブラックリストに掲載された可能性を疑ってください。

- (1) メールクライアントソフトの設定は一切変更していないのに、急にメールの送信ができなくなった。
- (2) 社内の他のクライアントも同じ現象が出ている。
- (3) ウィルスに罹った可能性がある。
- (4) SMTP エラー(コード 451)等のエラーメールが帰ってくる。

## 第3節 ブラックリストに載ってしまったら？

上記のような現象が現れた場合、下記対策を実施ください。

- (1) インターネットとの接続に ADSL や ISDN 等、プロバイダからその都度 IP アドレスが割り当てられるサービスをご利用の場合、ルータの電源を OFF にし、20分から30分待ってから ON にして再度試してみてください。
  - (2) 上記でも改善されない場合、ご契約いただいているプロバイダに相談いただき、別の IP アドレスを取得してください。
  - (3) さらに上記でも改善されない場合、及び、プロバイダから固定でグローバル IP アドレスを取得している場合は、下記情報を当社コミュニケーションセンターまでお知らせください。当方よりブラックリストからはずしてもらう様に依頼します。
- ① 送信が出来なかった際にメールサーバから帰ってくるエラーメッセージ  
(転送でも、スクリーンショットでも可)。
  - ② お客様がインターネットとの接続に使っているグローバル IP アドレス。
  - ③ お客様のドメイン名
  - ④ 該当ブラックリストサーバ名

エラーメッセージ例(OutoLookExpress の場合)

SMTP がエラーを返しました。アカウント : '\*\*\*\*\*', サーバー : \*\*\*\*\*.com', プロトコル : SMTP, サーバーの応答 : 'rblsmtpd: 222.222.222.222 pid 1 0186: 451 http://dsbl.org/listing?222.222.222.222', ポート : 25, セキュリティ(SSL) : なし, エラー番号 : 0x800CCC6)

ブラックリストサーバ名

ブラックリストに載ってしまった IP アドレス



## 第11章 標準提供のスクリプト (CGI、PHP) ご利用について

Applitus Server VALUE でご利用いただける標準提供スクリプト(CGI、PHP):無料

### 第1節 フォームメールスクリプト「Form to Mail」 <PHP>

Form to Mail は「お問合せ」「申込受付」「アンケート」「営業受付」など、ホームページ閲覧者に項目にそって入力を促す画面を用意し(お客様からのデータ入力を必要とするページ(html ファイル)に指定の記述を入れる)、入力されたデータをメールで受けるプログラムです。

- 受け付けたデータを指定のメールアドレスに送付できます。

<注意事項> 弊社「Applitus Server VALUE」をご利用のお客様のみへのご提供に限らせて頂きます。

#### ■ フォームメールスクリプトの設置方法

##### **html** ファイルの記述について

html ファイルを開き、データ入力を受け付けたい個所に、以下の形式の form タグを記述してください。

```
<form action="/form-mail.php" method=POST>
<input type=HIDDEN name=to value=" [メールの宛先] ">
<input type=HIDDEN name=name value=" [受付フォーム名] ">
<input type=HIDDEN name=location value=" [受付後のページ] ">
<input type=Text name=SEND_"[項目名]">
<input type=SUBMIT value="送信">
</form>
```

[メール宛先] : 受け付けましたデータの送信先となるメールアドレスをご指定ください。『送信』ボタンがクリックされるたび、データがメールで指定先に届きます。

[受付フォーム名] : 受付フォームの名前をご指定ください。名前が異なると違う受付フォームとみなされ、管理画面では個別に表示されます。\*受付フォーム名の名前ルールは次ページをご参照ください。

[受付後のページ] : 受付完了後に表示しますページの URL を指定してください。  
( "http:// ~ / × × × × .html" 等 \*指定する URL は必ず http://から始めてください。)

[項目名] : 項目の名前をご指定ください。メールでデータを受け取る際、項目ごとに改行されます。  
\*項目名の名前ルールは次ページをご参照ください。

**ご注意!!** SSL 領域内でフォームメールスクリプトをご利用になる場合も同様です。



## ■ 更に進んだ使い方

```
<input type=TEXT name=SEND-[入力必須項目名]>  
<input type=HIDDEN name=n_location value=[指定エラーページ]>
```

[入力必須項目名] : 入力されたかどうかの確認を行ない、未入力の場合にはエラー表示をさせる[入力必須項目]を設定することができます。その場合は SEND-(ハイフン)[入力必須項目] とご指定ください。  
(入力が行なわれたかどうかのチェックを行わず、そのまま受け付ける場合は SEND\_(アンダーバー)[項目名] とご指定ください)

[指定エラーページ] : 「入力必須項目名」が入力されていない場合に表示させるエラーページの URL をご指定ください。  
( "http:// ~ / × × × × .html" 等 \*指定する URL は必ず http://から始めてください。)  
エラーページを指定しない場合は「必須項目が入力されていません」というメッセージが表示されます。

**ご注意！！**

< [受付フォーム名] [項目名] の名前付けルール >

- 使用できる文字は、「半角数字0～9」「半角アルファベット」のみとなります。
- [項目名]は text のほか、通常の html の form タグ内で記述できるものを使用できます。

(textarea, select, check, radio)

但し name は必ず SEND\_又は SEND-ではじめてください。

(SEND\_の name が指定されていないものにつきましては、メール配信されません。)

check, radio などの場合は、必ず value に値をセットしてください。

例) <textarea name=SEND\_Coment rows=5 Cols=30>

</textarea>

例) <input type=check name=SEND\_Tsuika value="追加" >

- 入力受付画面より、半角カタカナや絵文字などが入力された場合には、受け取るデータに文字化けが生じますのでご注意下さい。

■ メールでの受け取りについて

設定しました「受付フォーム」にお客様よりデータが入力されますと、以下のような形式のメールが届きます。

<サンプル>

From: noreply@comstage.net  
 Sent: Wednesday, August 11, 2008 1:43 PM  
 To: [メールの宛先]  
 Subject: [受付フォーム名] 30日間無料体験お申込みフォーム

受け付けフォーム  
<http://www.plus-desknets.com/info/index.html>  
 から受け付けがありました。

<項目名>  
 \_\_\_\_\_  
 company01  
 \_\_\_\_\_

<入力内容>  
 \_\_\_\_\_  
 かぶしきかいしやねおじゃぱん  
 \_\_\_\_\_

<項目名>  
 \_\_\_\_\_  
 company02  
 \_\_\_\_\_

<入力内容>  
 \_\_\_\_\_  
 株式会社ネオジャパン  
 \_\_\_\_\_

## 第2節 アクセスカウンタースクリプト<CGI>

アクセスカウンタースクリプトでは、お客様のホームページへのアクセス数を表示する CGI プログラムをご提供いたします。Applitus Server VALUE サービスをお申込頂くと、任意の個所にいくつでもカウンターを表示することができます。(複数アクセスカウンターサービスをお申込いただく必要はございません)

- アクセスカウンターを表示したいページ(html ファイル)に指定の記述を入れることにより、その個所に GIF 画像のアクセスカウンターが表示されます。
- アクセスカウンターに使用する数字のデザインは 7 タイプからご選択できます。
- アクセスカウンターの最大表示桁数は 8 桁です。(最大カウント数は 99,999,999、最大カウント数を超えると「0」に戻ります)
- <注意事項>弊社「Applitus Server VALUE」をご利用のお客様のみへのご提供に限らせて頂きます。

### ■ アクセスカウンターの設置方法

#### html ファイルの記述について

html ファイルを開き、カウンターを表示させたい個所に、以下の形式のタグを追加してください。

```

例) 
```

[アクセスカウンター名] : カウンターの名前をご指定ください。名前が異なると違うカウンターとみなされ、管理画面では個別に表示されます。

[数字タイプ] : 数字のデザインは 1~7 番の中からご選択ください。

番号	デザイン	番号	デザイン
1		5	
2		6	
3		7	
4			

[カウンター数字の変更] : counter.cgi と同じ場所(cgi-binフォルダ内)に拡張子が「dat」となる、[アクセスカウンター名.dat]で表記されるファイルがあります。この中の数字をテキストエディタ等で編集します。  
任意の数字を書き込んだ[アクセスカウンター名].datファイルをcounter.cgiと同じ場所(cgi-binフォルダ内)にftpにより設置しても同様です。  
この場合は、属性を 666(rw-rw-rw-)に設定してください。

**ご注意！！**

<アクセスカウンター名]の名前付けルール>

- ご使用できる文字は、「半角数字0～9」「半角アルファベット」のみとなります。

**Web アクセス解析をお考えのお客様へ**

アクセスカウンターをアクセス解析のためにお使いのお客様へ

Web アクセス解析用の新サービスとして「レポート」機能を標準で提供しています。アクセスカウンターを利用しなくてもお客様のホームページへのアクセス状況が一目で分かる機能です。詳しくは、第一節 ドメイン管理機能(お客様情報管理、レポート機能)、第一項 レポート(P16)をご覧ください。

---

## 第12章 お客様独自 CGI 及び PHP スクリプトの設置について

### 第1節 サーバ環境

本サービスは、お客様が独自にご用意の perl による CGI スクリプト・PHP スクリプトが利用可能なサーバ環境を提供しております。本サービスのサーバ環境は、以下通りとなっております。

#### [ハードウェア]

インテル・アーキテクチャ サーバ

#### [ソフトウェア]

OS : CentOS Ver.5.0  
Web サーバ : Apache 2.2.3 (with suEXEC)  
FTP サーバ : ProFTPD  
データベース : MySQL 5.0.22

#### [お客様用ディスク容量]

お客様のご利用可能なディスク容量は、ホスティング契約内(基本契約は 2GB)であれば、自由にご利用になれます。なお、メールサーバ、Web サーバ(独自 CGI、PHP スクリプト設置環境を含む)は同一環境で動いております。

お客様ホスティング容量の追加変更は 100MB 単位で申し受けております。

詳しくはコミュニケーションセンター(0120-365-800)までお問い合わせ下さい。

## ■ コンテンツの転送方法

お客様独自 CGI は、契約内のホスティングサーバ領域をお使いいただきます。  
CGI スクリプトの準備ができたなら、このサーバ領域にアップロードを行ってください。  
お客様への「Applitus Server VALUE 登録完了通知書」に記されている、  
管理者 ID とパスワードでログインをして下さい。

ログイン後に表示される「**httpdocs (SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)**」というサブディレクトリの中に  
お客様のコンテンツを転送します。

サーバへログインすると、以下のようなフォルダが表示されます。

- anon\_ftp
- bin
- cgi-bin
- conf
- error\_docs
- httpdocs
- httpsdocs
- pd
- private
- statistics
- subdomains
- web\_users

この **httpdocs(SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)**の中に、Web コンテンツである HTML ファイル、画像ファイル等を設置します。**CGI スクリプトは cgi-bin フォルダに設置します。**httpdocs(SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)フォルダの外に設置された場合はファイルが表示されませんのでご注意ください。  
尚、CGI(SSI)スクリプトの転送の注意点については、後述「CGI ご利用の際の注意点」をご覧ください。

## 第2節 CGI スクリプトのご利用について

本サービスでの CGI スクリプトの利用環境は以下ようになっております。

### [対応言語]

本サービスでは下記の3種類の言語のみに対応しております。

- Perl/Bourne
- Shell/C
- Shell

Perl のバージョンは Perl5.8.8 となっております。

標準で付属するモジュールも使用可能です(標準モジュールについては章末に記載)。また、その他別途モジュールが必要な場合は、お客様の領域内に設置していただければご利用は可能です。その場合はお客様の責任の上でご利用をお願い致します。

※通常の CPAN から提供される perl モジュールのインストール(make などが必要)に関しましては、お客様側でのサーバへのインストールは行えませんのでご注意ください。

尚、上記以外の言語(C 言語等)はご利用いただけません事をご了承ください。

それぞれの言語を使用するのに必要なパスは以下の通りです。

Perl(ver. 5.8.8)	/usr/bin/perl もしくは /usr/local/bin/perl
Bourne Shell	/bin/sh
C Shell	/bin/csh

CGI スクリプトで Perl をご利用になる場合は、スクリプトの 1 行目に

`#!/usr/bin/perl` もしくは `#!/usr/local/bin/perl`

と記述する必要があります。

### [その他のコマンドへのパス]

(1)メール送信プログラム(sendmail)へのパス

`/usr/sbin/sendmail` もしくは、 `/usr/lib/sendmail`

(3) ディレクトリ内のファイルリスト取得コマンド(ls)へのパス

`/bin/ls`

(4) 日付取得コマンド(date)へのパス

`/bin/date`

(5) 文字列マッチ処理コマンド(awk)へのパス

`/bin/awk`

**[CGIご利用の際の注意点]**

- (1) 本サービスのサーバでは、suEXEC という仕組みを用いて CGI を動作させております。  
この為、スクリプト及びディレクトリの書き込み権限が所有者以外に設定されていると、  
CGI スクリプトが正常に動作致しませんので、以下のように設定することをお勧めします。

実行する CGI スクリプト	rwx r-x r-x 755
CGI を配置するディレクトリ	rwx r-x --- 750
データ用ファイル	rw- --- --- 600

また、本サービスではお客様の telnet 利用ができませんので、権限設定に関しては FTP ソフトウェアの機能か、コントロールパネルのファイルマネージャを利用して行ってください。

- (2) CGI スクリプト(テキストファイル)の転送の際は、アスキーモードで転送を行ってください。  
バイナリーモードで転送した場合、改行コードの問題により CGI スクリプトが正常に動作しない  
可能性があります。
- (3) アクセスログ・エラーログはコントロールパネルのログマネージャより確認できます。

**ご注意！！**

尚、ご用意された CGI スクリプトのマニュアルによっては、データ用のファイルやディレクトリに対して、アクセス権限を 777(rwx rwx rwx)や 666(rw- rw- rw-)に設定することを指定している場合がありますが、これは第三者に対してファイルのアクセス権を付与している形となりますので、お客様独自 CGI として絶対にご利用なさらないようご注意ください。

**[お客様独自 CGI サーバ 標準モジュール一覧]**

Config.pm	attrs.pm	Exporter.pm	diagnostics.pm
DynaLoader.pm	ops.pm	Fatal.pm	fields.pm
Errno.pm	re.pm	FileCache.pm	integer.pm
Fcntl.pm	AnyDBM_File.pm	FileHandle.pm	less.pm
GDBM_File.pm	AutoLoader.pm	FindBin.pm	lib.pm
IO.pm	AutoSplit.pm	SelectSaver.pm	locale.pm
NDBM_File.pm	Benchmark.pm	SelfLoader.pm	look.pl
O.pm	CGI.pm	Shell.pm	newgetopt.pl
ODBM_File.pm	CPAN.pm	Symbol.pm	open2.pl
Opcodes.pm	Carp.pm	Test.pm	open3.pl
POSIX.pm	Cwd.pm	UNIVERSAL.pm	overload.pm
<del>POSIX.pm</del>	DirHandle.pm	autouse.pm	sigtrap.pm
SDBM_File.pm	Dumpvalue.pm	base.pm	strict.pm
Safe.pm	English.pm	blib.pm	subs.pm
Socket.pm	Env.pm	constant.pm	vars.pm



### 第3節 PHP スクリプトの利用について

Applitus Server VALUE では、PHP スクリプト言語をサポートしています。

ご自分のパソコンで作成した PHP スクリプトを ftp でサーバへ転送するか、コントロールパネルのファイルマネージャ機能を使用して作成してください。

PHP スクリプトは html ドキュメントと同じように、httpdocs (SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)内に設置します。

PHP スクリプトに実行許可は必要ありません。

WEB サーバで PHP スクリプトを実行するためには、「.php」という拡張子を付ける必要があります。

**PHPのバージョンはPHP5.1.6となっております。**

PHP 5.1.6 (cli) (built: Sep 20 2007 10:16:10)

Copyright (c) 1997-2006 The PHP Group

Zend Engine v2.1.0, Copyright (c) 1998-2006 Zend Technologies

## 第 13 章 暗号化通信技術 SSL の利用について

本サービスでは、暗号化通信技術 SSL がご利用可能です(無償)。SSL のご利用にあたっては以下を参照下さい。

### 第 1 節 サーバ環境共用 SSL サーバ設定完了通知書について

共用 SSL サーバをお申しいただきますと、サービス開通のお知らせといたしまして、共用 SSL サーバ「設定完了通知書」が管理者様に届きます。

#### 共用 **SSL** サーバ「設定完了通知書」例

ドメイン名 dataxxx.com (仮) の場合

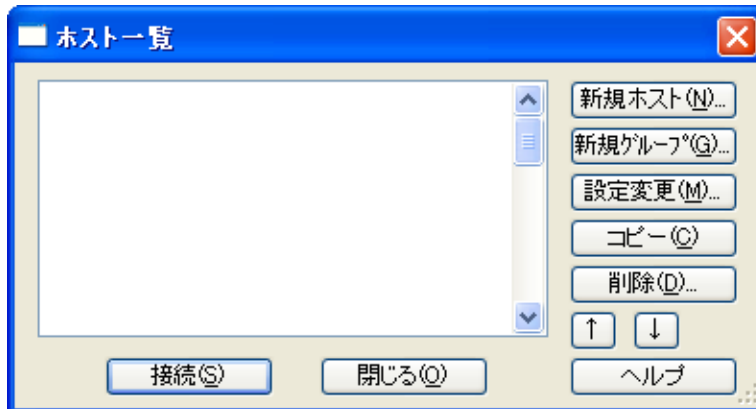
お申込サービス	共用 SSL サーバサービス
管理者 ID	sfa***** または ssa*****
パスワード	*****
FTP アカウント	*****
FTP パスワード	*****
ドメイン名	dataxxx.com (お客様ドメイン名)
自社ホームページ URL	http://www.dataxxx.com
SSL 領域 URL	https://www.cgihost.jp/~*****
FTP 先サーバー名	ftp.cgihost.jp
ディレクトリ	/

## 第2節 FTP ソフトからのサーバへのアクセスの方法

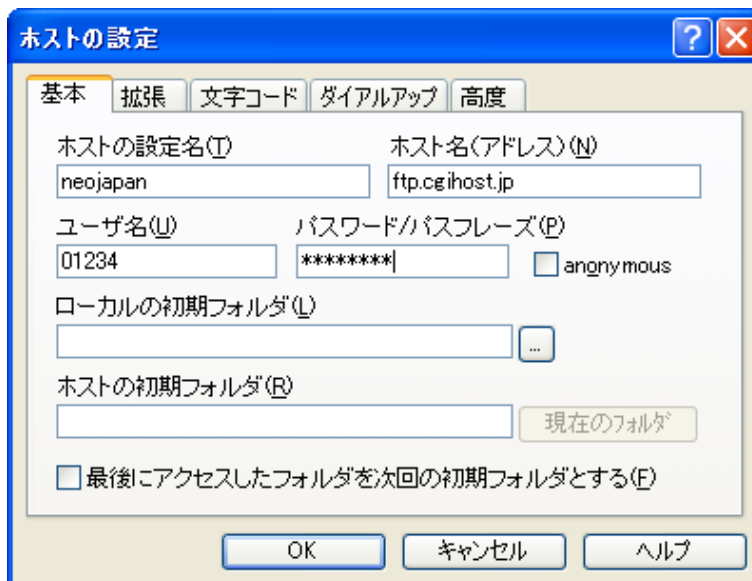
### **FFTP** ソフトを使用した場合

#### 【手順】

- ① FTPソフト(fftp)を立ち上げます。  
メニューバーの「ファイル」から「接続」をクリックすると下記画面が表示されます。



- ② 「新規ホスト」をクリックすると、下記設定画面が表示されますので、共用SSLサーバ開通通知書を参考に、下記の通り必要事項を入力します。

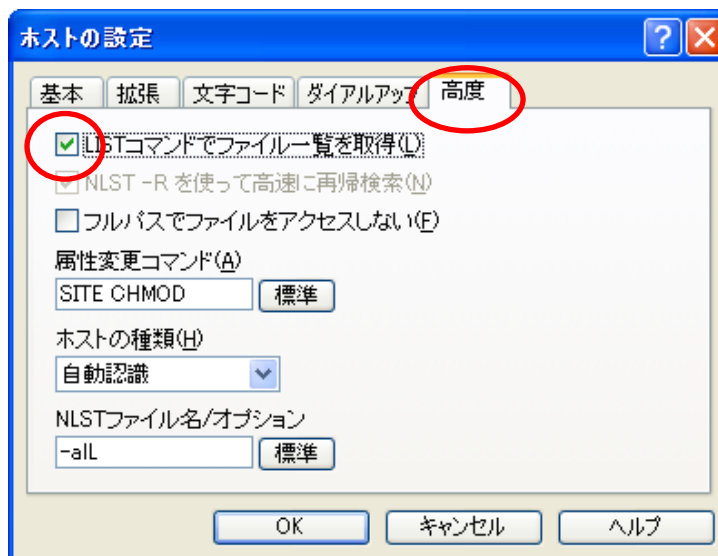


### 入力項目

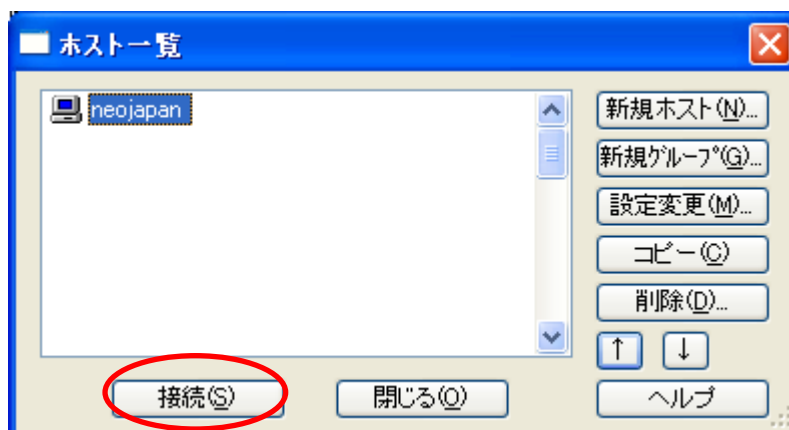
(共用 SSL サーバ開設通知書(P73)をご参照ください)

[ホストの設定名]	:	任意の名前を付けてください。
[ホスト名(アドレス)]	:	共用 SSL サーバ開設通知書「FTP 先サーバ名」欄
[ユーザ名]	:	共用 SSL サーバ開設通知書「FTP アカウント」欄
[パスワード/パスフレーズ]	:	共用 SSL サーバ開設通知書「FTP パスワード」欄
[ローカルの初期フォルダ]	:	未入力で結構です。
[ホストの初期フォルダ]	:	未入力で結構です。

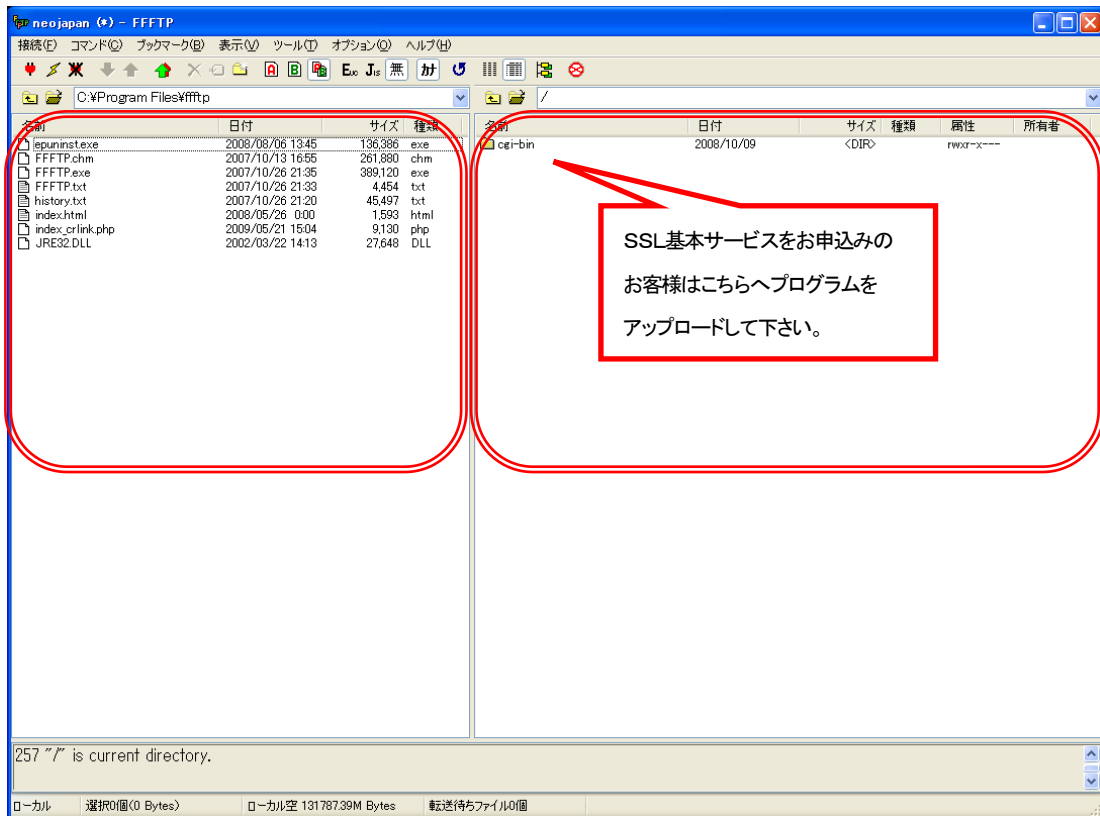
- ③ 「高度」タブをクリックし、下記の通りチェックボックスにチェックを入れます。



- ⑤ 入力後、「OK」ボタンをクリックすると、下記画面が表示されます。



- ⑥ 「ホスト」を選択して、「接続」をクリックするとサーバへの接続を開始し、接続が完了すると下記画面が表示されます。

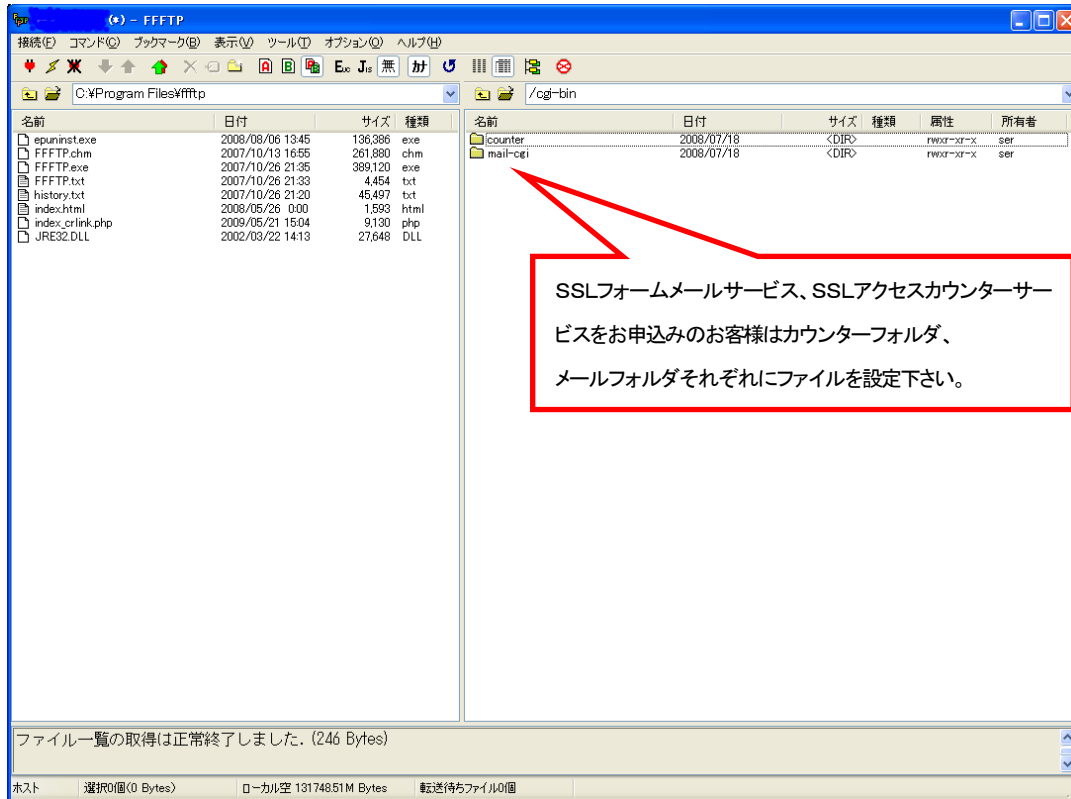


左側がお客様のパソコン上のファイル、右側が共用 SSL サーバ側のファイル一覧を表示します。

送信したいファイルを左側の一覧から選び、上向き矢印のアップロードボタンを押して共用 SSL サーバにデータをアップロードします。

【SSL領域内フォームメールスクリプト・アクセスカウンタスクリプトをお申込みのお客様】

SSL領域内フォームメールスクリプト・アクセスカウンタスクリプトをお申込みのお客様は「cgi-bin」内に設定されている「counter」「mail-cgi」フォルダーへそれぞれ設定頂けますようお願い致します。



### 第3節 SSL 領域サーバへのアクセス方法

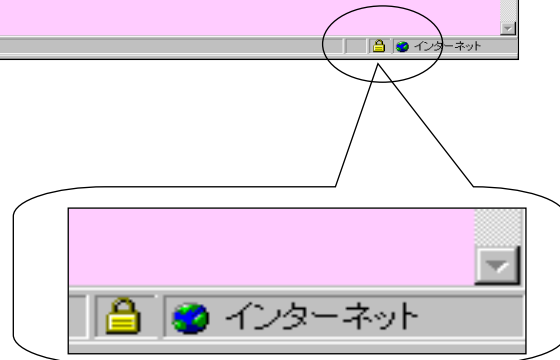
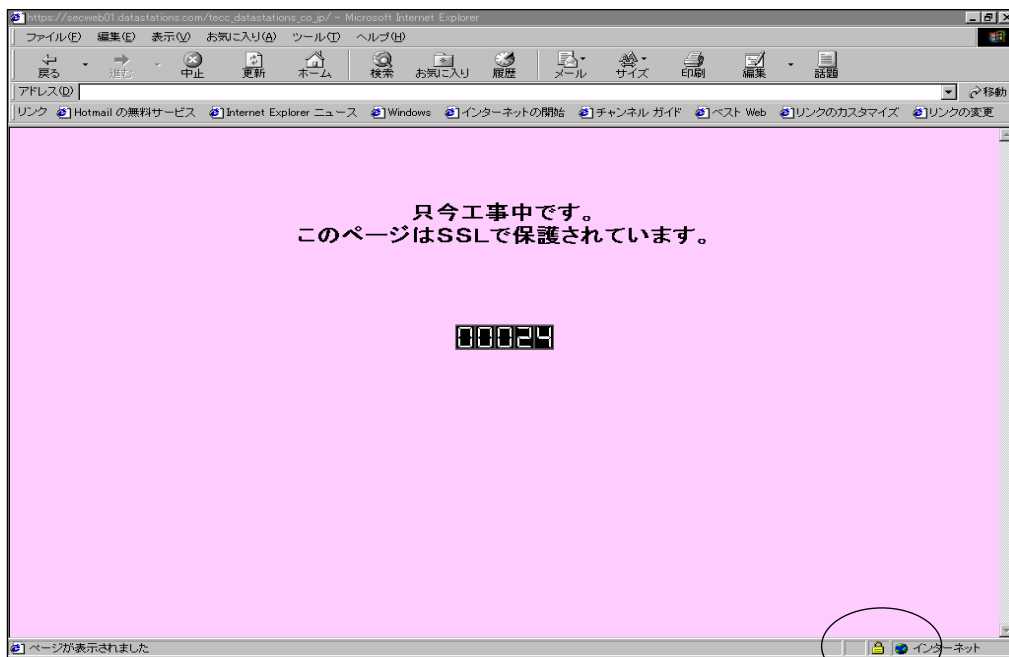
本サービスで設定しました共用 SSL サーバ領域へは、ブラウザを使ってアクセスします。

#### ブラウザ（Internet Explorer）を使用した場合

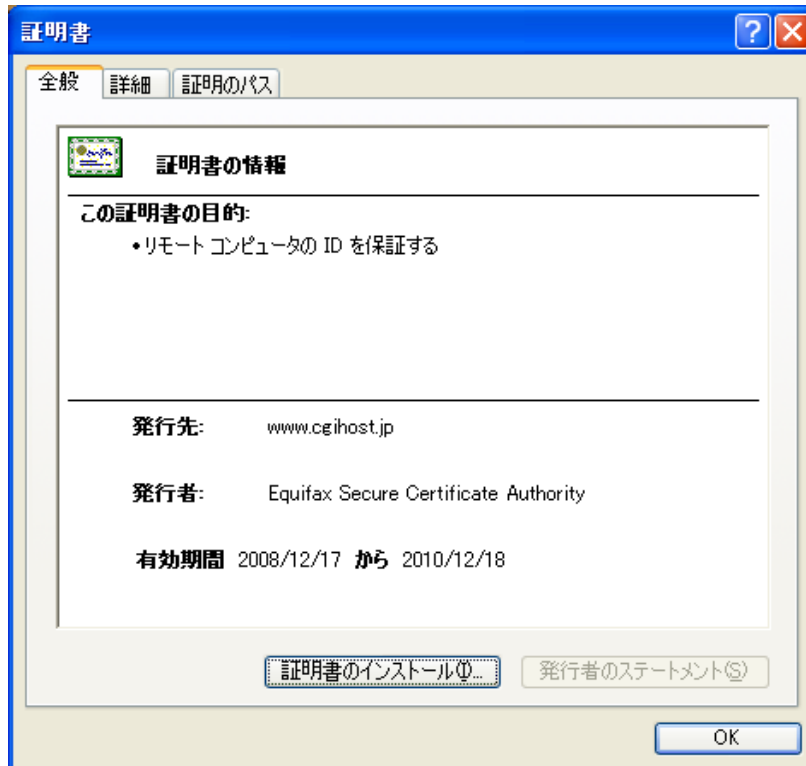
##### 【手順】

- ⑧ ブラウザーを起動してください。
- ⑨ SSL 領域 URL (P73 参照) [https://www.cgihost.jp/~\\*\\*\\*\\*\\*](https://www.cgihost.jp/~*****)
- ⑩ アクセスしますとページが表示されます。

ブラウザには SSL が設定された領域であることを示す、「鍵がかけられたマーク」が表示されます。



- ① 「鍵がかけられたマーク」をダブルクリックしますとセキュリティ情報が確認できます。





## 第14章 SSI の利用について（スクリプトを含んだ記述）

本サービスでは、SSI がご利用可能です。SSI の利用環境は以下のようになっております。

### [ファイル名]

SSI を実行するファイルの拡張子は、".shtml"となっています。それ以外の拡張子は、SSI の記述が無効となります。

### [各種 SSI]

(1) `<!--#exec cgi="***"-->` 形式

URL で実行する CGI を指定します。(絶対パスや相対パスで指定しても無効)

例)`<!--#exec cgi="/~sample/foo.cgi"-->`

(2) `<!--#include file="***"-->` 形式

インクルードするファイルを指定することができます。パスで指定を行います。

(3) `<!--#include virtual="***"-->` 形式

インクルードするファイルを指定することができます。URL で指定を行います。

### **ご注意！！**

".shtml"のファイルには、実行権限を付与する必要はありません。

## 第15章 ".htaccess"を用いた設定変更

お客様は、必要に応じて".htaccess"というテキストファイルを作成することで、以下のようなサーバ設定の変更が可能になります。

### [デフォルトドキュメントの変更]

ユーザーがURLをディレクトリ名までしか入力しなかった場合に、初期設定状態では、index.htmlを表示しようとします。これを変更するためには、".htaccess"ファイルに以下のような記述を行います

**DirectoryIndex** [指定するファイル名]

例] DirectoryIndex top.html

上記の設定を行う事により、[index.html]ではなく[top.html]が表示されるようになります。

### [アクセス元によるアクセス制限]

".htaccess"ファイルを用いて特定のホスト(IP、ドメイン)からのアクセスを制御する事ができます。

特定のホストからのアクセスを拒否する場合は、

```
<Limit POST GET>
order allow,deny
allow from all
deny from xxxx.yyyy.com (ホスト名、IP、ドメイン名を指定)
</Limit>
```

特定のホストからのみアクセスを許可する場合は

```
<Limit POST GET>
order deny,allow
deny from all
allow from xxxx.yyyy.com(ホスト名、IP、ドメイン名を指定)
</Limit>
```

また、ユーザー認証に関する設定が必要な場合は、コントロールパネルの「ディレクトリ」から行うことができます。

### [MIME タイプの追加]

Contentの種類を追加したい場合には、".htaccess"ファイルに以下の様な記述を行うことで有効になります。

**AddType (Contentの種類) (拡張子)**

### [cgi-bin 以下で html ファイル等を表示させる]

下記のような設定を.htaccess に記述し、cgi-bin フォルダに設置することで、cgi-bin フォルダ内に設置したhtmlファイル等がブラウザから閲覧可能になります。

**AddHandler text/html .html .htm .txt .css**

## 第16章 スクリプト設置に関する注意事項

本サービスを利用するにあたり、以下の事柄についてご注意をお願い致します。

### **【本サービス利用の制限及び停止】**

以下の実行に関しては、高負荷もしくはセキュリティ的問題の原因となる可能性がありますので、当該スクリプトを発見した場合には本サービスの停止を致します。

- 任意のコマンドを実行できる CGI(SSI)
- 1 回の実行時間が通常時で処理に 10 秒以上かかる CGI
- 1 回の実行で、5 個以上のプロセスを生成する CGI
- 1 秒間に 3 回以上呼ばれることがあるような CGI(チャット CGI など)

### **【禁止事項】**

以下の行為は禁止事項となっております。

(1) アクセスカウンター・及びフォームメールに関する契約者独自 CGI の利用並びにアップロード。

※ Applitus Server VALUE 標準提供スクリプト CGI で提供していない機能が、アクセスカウンター及びフォームメールの各 CGI に必要な場合は、これを除きます。

## 第17章 おかしいな? と思ったら (Q&A)

「Applitus Server VALUE」ご利用にあたり、よくお受けする質問をまとめました。「おかしいな?」と思ったら、まずは下記FAQをご参照ください。尚、下記内容は適宜アップデート致します。

### 第1節 管理画面について

- 【Q1】 Applitus Server VALUE にログインしようとする時「ログイン情報が正しくありません。」というエラーメッセージが表示され、ログインすることができません。
- 【A1】 ブラウザのお気に入り登録されている Applitus Server VALUE のリンクを右クリックし、プロパティを選択してください。Webドキュメントタグの URL 欄にて「http://cp.odas.jp/hostX.comstage.net /」以降に文字列が挿入されているかどうかをご確認ください。入力されている場合は、削除していただけますようお願いいたします。また、Cookie の削除とキャッシュの削除も合わせて実施してください。
- 【Q2】 URL を正しく入力しても管理画面が表示されません。
- 【A2】 お客様の環境が下記の場合、管理者ログイン画面に接続できない場合があります。
- ・ファイアウォールやプロキシサーバ経由でインターネットに接続している場合
  - ・MacOS 8&9 及び MacOSX でインターネットエクスプローラを使用している場合
- ファイアウォールやプロキシサーバ経由でインターネットに接続されている場合は、直接インターネットに接続できる環境から接続いただくか、ファイアウォールやプロキシサーバの設定をポート8443が通る様に変更する必要があります。

## 第2節 メールについて

【Q1】 メールを送受信を行うことができません。

【A1】 まずはメールを送受信できないのが、特定のユーザー様だけなのか、全てのユーザー様なのかをご確認ください。

＜全てのユーザー様においてメールの送受信が行えない場合＞

お客様のネットワーク環境からインターネットに接続できるかをご確認ください。インターネットに接続できない場合は、ネットワーク機器に不具合が発生している可能性がございますので、そちらをご確認ください。インターネットに接続できる場合は、マニュアルの P29 の「メールボックス管理」をご参照いただき、Applitus Server VALUE 上でメールボックスが有効になっているかどうかをご確認ください。有効になっていてメールの送受信が行えない場合は、メールソフトの設定の受信メールサーバと送信メールサーバをサーバ名ではなく、IP アドレスで入力してメールの送受信が行えるかどうかをご確認ください。

＜特定のユーザー様だけの場合＞

ユーザー様がご利用されている PC からインターネットに接続できるかをご確認いただくとともに、マニュアルの P60～のメールソフトの設定例を参考にメールソフトの設定内容をご確認ください。インターネットに接続できない場合は、PC のネットワークの設定および、ネットワーク機器の不具合の有無をご確認ください。

【注意】

上記で記載させて頂いた以外にもセキュリティ対策ソフトによってメールの送受信が行えなくなるというケースもございます。セキュリティ対策ソフトを導入されている場合は、マニュアル及びメーカー様にもご確認いただけますようお願いいたします。

【Q2】 容量の大きいメールを送信することができません。

【A2】 Applitus Server VALUE から一度に送信できるメールの容量は 15MB となっております。送信したメールのサイズをご確認いただき、15MB を超えている場合は、ファイルをいくつかに分割する、もしくは、ファイルを圧縮することでファイルサイズを減らして頂き、一度に送信するメールの容量を減らして頂けますようお願い致します。

また、15MB を超えていない場合、送信先のメールサーバの一度に受信できるメール容量を超えている可能性が考えられます。

【Q3】 メールを受信することができません。

【A3】 マニュアルの P29 の「メールボックス管理」をご参照いただき、Applitus Server VALUE 上で、メールボックスが有効になっているかどうかをご確認ください。また、受信メールサーバ上にメールヘッダが不正、もしくは破損しているメールが存在し、メールを受信することができない可能性があります。受信メールサーバ上(POP サーバ上)にある任意のメールに関して、メールヘッダを確認しながら削除することが可能なソフトウェアを下記に紹介致します。

---

[Windows] PopTray (Ver.3.1.0 beta6 日本語化バージョン)

<http://www.geocities.co.jp/SiliconValley-PaloAlto/3802/poptray310b6j.zip>

設定方法はこちら

<http://www.infopier.net/etc/software/poptray/>

---

[Mac] Mail-Delete 1.6.0

<http://www.asahi-net.or.jp/~gj3t-tki/REALbasicAPL/Mail-Delete.html>

---

ヘッダ情報が欠落している等、不正な形式のメールを選択表示しようとした場合はエラーメッセージが表示されますので、削除対象の目安としていただくこともできるかと思えます。なお、本ソフトウェアを使用して削除したメールについては復活させることができませんので、お使いになる際は十分にご注意願います。

\*\*\* ご注意 \*\*\*

アプリケーションのインストール及びご使用については、ご自身の責任においてお願いいたします。  
インストール及びご使用したことにより発生した不具合については、弊社では責任を負うことはできません。

- 【Q4】 特定のメールアドレスもしくはドメインからのメールを届かないように設定したい。
- 【A4】 本マニュアルの P32～34 に記載されているスパムフィルタの機能を利用することで設定することが可能です。詳細につきましては、当該ページをご参照ください。
- 【Q5】 転送元にメール残さず、転送先で受信をしたい。
- 【A5】 管理画面で転送元のメールボックスを OFF にする。
- 【Q6】 二カ所以上に転送したい。
- 【A6】 管理画面で「転送」ではなく「メールグループ」を選択し、設定する。
- 【Q7】 メールを送信(送信時の認証)に 30 秒程度かかる
- 【A7】 「スパムメール」防止のために、幾つかの ISP 事業者では、ISP が提供しない第三者のメールサービス(レンタルサーバ等)へのメール送信行為をチェックしています(送信時認証が行われているかどうかなど)。そのため ISP 側でのチェックに 30 秒ほどかかる場合が報告されています。正しく送信される場合には、障害ではありません。

---

### 第3節 ウェブについて

- 【Q1】 HPはどこにアップロードすれば良いですか？
- 【A1】 httpdocs というフォルダにアップロードしてください。トップページには index.html という名前をつけてください。あらかじめ同じ名前のファイルがアップロードされていますが、システムが生成するデフォルトページですので、上書きしてしまってかまいません。
- 【Q2】 HPをアップロードしたがファイルが正常に表示されない。
- 【A2】 アップロードされているフォルダ名とファイル名をご確認ください。フォルダ名とファイル名が半角の英数文字で入力されていない場合、正しく表示されない可能性があります。半角の英数文字で入力されている場合で正しく表示されていない場合は、リンク元の HTML ファイルのソースで、リンクの設定が正しく記載されているかどうかをご確認ください。
- 【Q3】 FTP ソフトを使って httpdocs、httpsdocs、cgi-bin 以外のフォルダへアップロードしようとしたところ転送中にエラーが発生します。
- 【A3】 FTP ソフトを使ってお客様側でアクセスできるフォルダは httpdocs、httpsdocs、cgi-bin のみになります。

## 第18章 お問い合わせ窓口

### 〈コミュニケーションセンター〉

Applitus Server VALUE のご利用に関して、お困りになった際にはコミュニケーションセンターをご利用ください。操作に関する技術的なご質問及びご契約関係のご質問をお受け致します。

※但し、お客様が独自に作成されたプログラムの動作等に関するご質問にはお答え致しかねますので、予めご了承下さい。

コミュニケーションセンター	
電話番号	: 0120 - 365 - 800 (通話料無料) 受付時間／平日(月～金) 9:00～12:00、13:00～18:00
F A X	: 045-640-5918
電子メール	: support@applitus.com

お問い合わせの際にはお客様名・お問い合わせご担当者名・お客様番号を確認させていただきます。FAX・電子メールでお問い合わせの際にも必ずお客様名・お問い合わせ担当者名・お客様番号をご記入頂きますようお願いいたします。

# NEOJAPAN

サービス仕様ならびに本マニュアル内容は、予告無く変更される場合があります。  
本マニュアルの著作権は、株式会社ネオジャパンに帰属し、記載の事項については、無断転載、  
抜粋を禁じます。

株式会社ネオジャパン



# NEOJAPAN